

人 文 学 部

人類文化学科

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22401	論理学	選必	春学期	2	2～4	服 部 裕 幸
他の科目との関連	(旧カリ科目の) 論理学Ⅱの履修には論理学又は (旧カリ科目の論理学Ⅰ) の履修が前提とされる。					他学科履修 可

【副 題】 真理関数理論とその限界

【講義内容】 真理関数理論 (命題論理) の初歩的部分を概観する。具体的には、自然言語の文の記号化のしかた、真理値分析、「真理の木」の方法による正しい推論であるか否かの判定法、真理関数理論の限界、などを概観し、論理の研究法を身につけさせる。

【講義計画】 第1回：論理学＝(文法＋化学＋数学)÷3！？－論理学の目的と方法－
 第2回：言語の模型を作ろう！(パート1)－真理関数的言語－
 第3回：言語の模型を作ろう！(パート2)
 第4回：真理関数的言語を用いての記号化
 第5回：真理表と真理値分析
 第6回：馬鹿馬鹿しいほど当たり前のことと正しい推論
 第7回：推論が正しいか否かを効率よく判定するには－真理の木の方法(パート1)－
 第8回：真理の木の方法(パート2)
 第9回：もっと精巧な模型が欲しい！！－真理関数理論の限界－
 第10回：量化的理論言語(パート1)
 第11回：量化的理論言語(パート2)
 第12回：「日本人がみな英語が苦手であるわけではない」？－量化的理論言語による記号化－
 予習、復習をしないと授業についていくのが困難であるのでそのつもりでいること。随時小テストを行う。

【評価方法】 成績は出席状況、レポート、小テスト、試験の成績、等を参考につける。

【テキスト】 ジェフリー著『形式論理学』(産業図書)
 なお、戸田山和久著『論理学をつくる』(名古屋大学出版会)を参考書として推薦する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22406	言語論	選必	春学期	2	2～4	斎 藤 衛
他の科目との関連	「人文学基礎論(言語学入門)」をすでに履修していること。					他学科履修 可

【講義内容】 文法論、音韻論における伝統的な問題をとりあげ、詳しく議論する。Joseph Greenbergの語順の類型論に関する一般化、Edward Sapirの音素の心理的実在性に関する議論、Noam Chomskyの生得性仮説を解説し、言語研究のありかたについて考えていく。

【講義計画】 現代言語学は、言語研究を通して、人間の言語知識を対象とした科学的理論を確立することをめざす。しかし、言語研究のありかたについては、様々な立場があり、現在も盛んに論争が行なわれている。本年度は、「講義内容」に挙げられているトピックを題材として、言語研究は何を対象とすべきか、言語に関する科学的理論は可能か、といった根本的な問題について考える予定である。

【評価方法】 試験

【テキスト】 講義の初日に紹介する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22411	科学文化論	選必	秋学期	2	2～4	横 山 輝 雄
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 自然認識と文化の問題——人間と動植物のかかわりを中心に——

【講義内容】 近代科学は、人間の思想や文化に大きな影響を与えてきた。物理学にはじまった近代科学が、伝統的な自然観・世界観にどのような衝撃を与えたか。人類学をはじめとする人間学・人間科学あるいは歴史学・言語学などの人文学の領域において科学的方法はどこまで有効なのか、「民族分類学」(folk taxonomy)のもっている近代科学と異質な認識が環境問題との関連で再評価されていることなどをとりあげて、科学と文化の関係を明らかにする。

【講義計画】

1. 近代科学の自然観
2. 博物学と分類学
3. 人間科学・歴史科学の独自性の問題
4. 民族分類学・俗信科学
5. 民間心理学
6. 博物館、博覧会と展示
7. 万国博覧会と科学技術の時代
8. 動植物の「擬人的」解釈
9. 環境倫理と人間非中心主義
10. メディアとしての動物園
11. 日本の動物園の歴史
12. 都市情報装置としての動物園

【評価方法】 主として定期試験（筆答）による。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22416	社会人類学	選必	春学期	2	2～4	坂 井 信 三
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 世界の諸民族の社会構造や制度の比較研究をととして、人類社会の編成原理を探ろうとする社会人類学は、現代文化人類学の主要分野のひとつをなしている。講義では1920年代以降、現在までの主な学説の発展を追いながら、社会人類学の基本的な研究課題、問題設定、方法論などを理解させる。

【講義計画】

1. 社会の概念
社会人類学の歴史
社会を見る視点の変化
2. 人類の社会
家族と親族
ジェンダー
儀礼
3. 政治的統合と経済システム
国家の形成
近代国家の成立
現代世界の構造

【評価方法】 定期試験による

【テキスト】 特に指定しない

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22421	宗教人類学	選必	春学期	2	2～4	KNECHT Peter
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 宗教人類学は、宗教・信仰を文化現象として研究する学問分野である。本講義では個別文化における宗教体系の独自性に注目し、宗教的な行為や慣習の示す諸形態のタイプとその多様性を理解することを目的として、世界各地の社会からの民族誌的事例を紹介する。

【講義計画】

1. 宗教と宗教人類学：「文化現象」としての宗教。
2. 象徴の性質とその多様な機能。
3. 宗教の代表的行為：儀礼、呪術
4. 宗教的世界観：中心・辺境・権威
5. 宗教の職能者たちとその力：プリースト・シャーマン・憑物
6. 人生と社会における宗教：先祖の役割・人生の節目と死

【評価方法】 学期末の筆記試験によるが、参照物件の持ち込みを認めない。

【テキスト】 別に定めませんが、講義の進行に従って関連文献を紹介する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22426	民族誌学	選必	春学期	2	2～4	吉田 竹也
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 20世紀の文化人類学は、研究者自身が長期にわたって現地調査をおこない、その成果を民族誌というかたちにまとめ提示するという独特の学問的スタイルを確立した。講義では、代表的な民族誌を紹介しつつ、民族誌という方法の意義や特徴について検討するとともに、民族誌をめぐる近年のあらたな研究動向についても触れ、人文社会科学における民族誌学の位置づけについて考察する。

【講義計画】 まず、「民族誌」が何であるのかについての概要を説明する。次に民族誌研究の成立から発展、そして近年における根本的な批判までにいたる民族誌論の流れを説明する。そして講義の後半では、民族誌の具体例（著書もしくは論文）を取り上げて、それを読み込みながら、民族誌的研究について考察しようとする。なおこの講義は民族誌について知るトレーニングの場という性格をもっているため、履修者には数冊の民族誌を読んでもらい、適宜レポートを提出してもらう。半分は講義、半分は演習的な授業だと理解してほしい。

【評価方法】 出欠状況、受講態度、レポート、期末試験などを総合的に判断して評価する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22431	日本考古学	選必	秋学期	2	2～4	伊藤 秋男
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 東アジアのなかの日本考古学

【講義内容】 東アジアのなかの日本という視点から、旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代における器具の製作技術、食料の生産技術とその組織、衣食住の物質文化、宗教思想と死の芸術、東アジアにおける文化交流などの問題について論じる。

【講義計画】 個々の知識を修得することは、それほど大切なことではない。できるだけ毎回、プリントやスライドな

どの映像を通して、たくさんの考古資料を提供するから、これらの資料を材料にして、受講者の皆さん自らが、主体的に考えていただく時間にしたい。

【評価方法】 筆記試験と出席回数などから総合的に評価する。

【テキスト】 必要に応じてプリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22436	東洋考古学	選必	春学期	2	2～4	重 松 和 男
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 東アジアを中心にした考古学研究・調査の歴史と現状を述べた後、中国の考古学を時代を追って概述する。内容は、時代ごとの主要な成果を中心に、取り上げる予定である。韓半島・ヴェトナム、インド・パキスタンを中心に東南アジア・中央アジアの考古学にも若干触れる。出来る限り、視聴覚教材を利用する。

【評価方法】 試験

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22441	文化史	選必	春学期	2	2～4	早 川 正 一
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 今日の私達の日常生活は、まさに文化活動が主要であり、多岐にわたって複雑きわまりない。見方によっては、人類として自らが開発し、普及させてきたさまざまな文化に振り回され、文化と無縁では生活できない現実に至っている。

文化の多様性を考察するため、この講義は、文化の理解の原点にたちかえて、人類史における文化の歴史性に焦点を合わせることが主眼である。

【講義計画】 この講義は、下記の単元のもとに展開してゆく計画である。

- (Ⅰ) 前提として「文化」とは何か。これはあらゆる分野から常に問い直される課題であるが、人類学では、どのように文化をとらえ、考えてきたか。
- (Ⅱ) 「人類学的時間」とか「人類学的歴史」という視点とその方法。
- (Ⅲ) 考古学は「文化」と「歴史」をどのように考えてきたか。
- (Ⅳ) 民族学は「人類史」をどのようにとらえようとしたか。

【評価方法】 毎時間、出欠席カードを記入させ、出欠席の状況を成績に反映させる。期末試験のほかに、臨時の小テストを実施し、総合評価をする。欠席過多は不合格とする。

【テキスト】 未定。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22601	言語と知識（文法と意味）	選	春学期	2	2～4	青 柳 宏
他の科目との関連	「人文学基礎論（言語学入門）」、「言語論」などの科目で、生成文法の統語論の基礎を既修のこと。					他学科履修 可

【副 題】 文法と意味

【講義内容】 言語における構造と意味の関係を考える。生成文法の理論的装置を用いて、日本語や英語のさまざまな構造の文を詳しく吟味しながら、階層構造と語順の関係、表層構造(S-structure)と論理形式(Logical Form)

の存在意義を検討する。

【講義計画】 本年度はつぎのようなトピックを順次取り上げる予定である。

- (1) 補文構造
- (2) 移動現象
- (3) 束縛照応
- (4) 数量詞と作用域

【評価方法】 2、3回の小レポートと期末試験の結果を総合して評価する。

【テキスト】 プリントを配付する予定。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22606	言語と知識（言語類型論と統語理論）	選	秋学期	2	2～4	青 柳 宏
他の科目との関連	「人文学基礎論（言語学入門）」、「言語論」などの科目で、生成文法の統語論の基礎を既修のこと。					他学科履修可

【副 題】 普遍文法と言語類型論

【講義内容】 ひとが生得的知識として普遍文法(Universal Grammar)を有するという生成文法の仮説をもとに言語類型論を考える。個別言語間には、語順を初めとしてさまざまな差異が観察されているが、これらをどうすれば統一的かつ原理的に説明できるかを検討する。

【講義計画】 本年度はつぎのようなトピックを順次取り上げる予定である。

- (1) 主語・動詞の一致
- (2) WH疑問文
- (3) 冗語要素
- (4) 複合動詞形成

【評価方法】 2、3回の小レポートと期末試験の結果を総合して評価する。

【テキスト】 プリントを配付する予定。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22611	言語と知識（言語の哲学）	選	春学期	2	2～4	服 部 裕 幸
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 人が言語を話すときには規則にしたがっている。しかし、規則にしたがうとはどういうことなのか、私的な規則というのはいあるのか、したがってまた私的な言語というのはいあるのか。また、言語は単なるらがきなどは異なり、何かを指示したり意味する（のに使われる）。しかし、ある記号が何かを指示するとか意味するとはいかなることなのだろうか。このような問題を検討することによって言語知の本性を考える。

【講義計画】 次のテーマについて順次考察していく予定である。

- 1 言語哲学とは何か？言語学と何が違うのか？
- 2 意義と意味の区別について
「独身者」と「結婚していない人」は同じ意味である。したがって、「独身者＝結婚していない人」と「独身者＝独身者」は同じ意味である！何か変なところありますか？
- 3 ラッセルの記述の理論
- 4 意味についての検証主義
- 5 意味に関する全体論と翻訳の不確定性
言葉の意味を知ろうと思うと、たいていの場合、他の言葉の意味を知らねばならないことが多い。これは偶然のことではないように思える。しかしまた、これは驚くべき帰結をもたらすかもしれない。
- 6 私的言語の可能性

自分にしか理解できない言語というものはありうるのだろうか？

【評価方法】 基本的には学期末に実施するテストによって評価するが、出席状況を加味することもある。

【テキスト】 特定の教科書は使用しないが、次の文献を参考書として推薦する。
飯田隆著『言語哲学大全』勁草書房
D. クーパー、『ことばの探究』紀伊国屋書店

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22616	言語と知識（統語論）	選	春学期	2	2～4	斎 藤 衛
他の科目との関連	人文学部科目「人文学基礎論（言語学入門）」、または、外国語学部科目「言語研究の基礎（E）」をすでに履修していること。					他学科履修可

【講義内容】 現代言語学は、言語の科学的研究を通して、人間の「心」を解明することを目的とする。本講義では、チョムスキーの統率・束縛理論（1981）に至る文法理論の発展を概観し、この研究プロジェクトの意義を検討する。また、日本語研究、日英語比較研究が、このプロジェクトにいかに関与しているかについても考える。

【講義計画】

1. 文法理論がめざすもの：普遍の人間文法の解明
2. 規則のシステムとしての言語：英語文法を中心として
3. 理論的問題の設定：規則の統合と再編成
4. 表示と原理による普遍文法
5. パラメーターによる個別言語の説明
6. 日本語の位置付けと日本語研究の役割

【評価方法】 練習問題とレポート

【テキスト】 参考文献：中村 捷、金子義明、菊池 朗著『生成文法の基礎』、研究社出版、1989。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22621	言語と知識（コミュニケーションと言語）	選	秋学期	2	2～4	横 山 輝 雄
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 コミュニケーション論の諸問題

【講義内容】 言語はコミュニケーションで重要な役割をはたしているが、同時に非言語的なコミュニケーションと相補的な関係にある。対人関係、及び社会における人間のコミュニケーションの特徴を、動物の「言語」や「コミュニケーション」との対比、論理的言説と修辭的言説の関係、新しい知識生産とその社会的受容の問題などを論ずることで明らかにする。

【講義計画】

1. 言語の獲得と発達過程
2. 言語的コミュニケーションと思考様式
3. コミュニケーションと認知科学
4. コミュニケーションと哲学
5. 動物のコミュニケーション
6. ノンバーバル・コミュニケーションの機能と理解
7. メッセージの分析
8. 広告のコミュニケーション
9. うわさ話とメディアの役割
10. コミュニケーションと説得
11. テレビゲームとコミュニケーション
12. 異文化コミュニケーション

【評価方法】 主として定期試験（筆答）による。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22626	人間と文化（人間理解の方法論）	選	春学期	2	2～4	小林 傳史
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 人間理解の方法論

【講義内容】 近年の進化論的アプローチによる人間観と伝統的な哲学や文化人類学等が提示してきた人間観の収斂と相違を解説することを通じて、人類文化に対する様々な研究様式を概観する。また、異文化理解の可能性をめぐる哲学的難問を提示し、それが歴史的過去や他者の理解においても同様に生じる問題であることを理解させることを通じて、文化研究の根底にある方法論的前提を意識化させる。

【講義計画】

1. 序論
2. 自然科学の人間観の系譜
 - ・人間機械論
 - ・進化論の人間観 1：スペンサー、ハクスリー、ダーウィン
 - ・進化論の人間観 2：社会生物学、ドーキンズ
 - ・遺伝と環境
3. 人類学的人間観の系譜
 - ・「文化」概念の意味
 - ・人類学的認識と相対主義
4. 異文化理解の諸問題
5. まとめ

【評価方法】 筆答による定期試験

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22631	人間と文化（人間文化の諸問題）	選	秋学期	2	2～4	谷口 佳津宏
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 西洋倫理学史第2部

【講義内容】 人間と文化に関わるいくつかの問題を、人間文化による人間の定義、神話と宗教、言語、芸術、歴史、科学の六つの項目を中心に考察する。

【講義計画】 上記の内容をふまえ、具体的には、以下の思想家の人間についての考えを解説する。

1. ホッブス
2. デカルト
3. スピノザ
4. ヒューム
5. カント
6. ベンサム
7. ミル

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 プリント資料を配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22636	人間と文化（哲学と心の問題）	選	秋学期	2	2～4	金子 善彦
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 哲学と心の問題

【講義内容】 私達は、自分に心があると信じて疑わないし、自分の気持ちは自分が一番よくわかっていると確信している。しかし、その場合の心とは何を意味するのだろうか。それは他人や、異文化の人々にも共有されるようなものなのだろうか。それとも、自分だけがひそかに持つようなものなのだろうか。また、そもそも心といったようなものは存在するのだろうか。本講義では、このような観点から、人間の心について哲学的に考察することにより、人間の理解にアプローチする。

【講義計画】 この講義では、「人間の心」の特徴を明らかにするために、次の問題を考えていく。

- (1) 「心がある」とはどういうことか——その基本的な特徴
- (2) 心は思考する——「太郎はケチだ」という思いはどう形成されるのか
- (3) 心は行動を引き起こす——いかにして「ケーキを食べる」のか
- (4) 心は直観する——いちいち考えなくても「殺人は悪い」とわかるのはどうしてか
- (5) 心は意識する——トマトの「赤」の生きいきとした感じは何に由来するのか
- (6) 熟練の技——マニュアルに従わなくても車が運転できるようになるのはなぜか
- (7) 心の働きと脳の働きはどう関係するのか——心は「機械の中の幽霊」か？
- (8) 機械が心をもつ可能性——アンドロイドは夢を見るか
- (9) 人間が不測の事態にも対処できるのはなぜか——フレーム問題
- (10) 心は「どこ」にあるのか——自己の内面と外面
- (11) 心は本当に「ある」のか

【評価方法】 つね日頃どれだけ授業に積極的に参加したかを重視する。具体的には、教室での積極的な発言、質問、レポート（小テスト）など。当然、出席してもらうことが大前提。
学期末には筆記試験を行ない、平常点とあわせて総合的に評価する。

【テキスト】 特に指定しないが、次のものを挙げておく（購入の必要はない）。
信原幸弘『考える脳・考えない脳』（講談社現代新書）
なお、必要に応じてプリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22641	人間と文化（認識の枠組み）	選	秋学期	2	2～4	戸田山 和久
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 理詰めでどこまで行けるか：現代形而上学の冒険

【講義内容】 人間が世界を認識しその中で生きていく際の最も基本的な枠組みを主題化しその整合性を点検し、統合していくことは非常に重要である。この講義の目標は、かつて形而上学と呼ばれていたそのような営みを現代科学との関連の中で再活性化させることである。具体的には、時間と空間という枠組みが科学との関係の中でどのように変容しつつあるかを論じる。その際、例えば、右と左の違いはどこにあるのか、時間旅行は可能か、といった問題を明確化しつつ問いすすめるという形式で講義を展開する。副次的には、原因と結果、説明、情報と知識、合理的意思決定、自由といった概念が検討されることになるだろう。

【講義計画】 今年度は、形而上学の大問題である「空間」の問題をとりあげちゃおう。
なるべく具体的なところから話をするために、まずは「鏡が上下ではなく左右を反転させるのはなぜなのか」についてトコトン考えてみる。
次に、「遠く離れて通信でしか話をできない宇宙人にどっちが右でどっちが左かを教えることはできるか」という問題に取り組む。
さらに、「右手の形と左手の形の違いはどこがどう違っているのか？」という問題に挑む。
これらの問題は、実は空間は我々の認識と独立に存在しているのか、それとも…、という問題につながっているのだ。そこで最後に、ニュートンやらライプニッツやらアインシュタインなんかなにも言及してこの

最後の大会問題に答える。

【評価方法】 授業の途中で何度か小レポートを書いてもらう。それと期末試験の成績をあわせて評価する。比重は50%：50%。

【テキスト】 テキストは使用しない。参考図書は洋書・和書たくさんあるので、講義の際にブックガイドを配る。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22646	人間と文化（知識と社会）	選	春学期	2	2～4	大 沢 秀 介
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 伝統的な認識論においては知識は個々の人間がもつものと考えられているが、知識というものはその本性上、社会的なものであり、それゆえ、たとえば知識を一人の人間の脳やコンピュータの中だけで見出すなどという試みは根本的に誤っている、ということや、知識にとってとかく否定的にとらえられがちな権威システムが、むしろ知識にとって決定的な役割を演じている、ということを論ずる。

【講義計画】

1. 知識について問うということ
2. 知識と知識でないもの
3. 知識論の歴史1
4. 知識論の歴史2
5. 意識から言語へ
6. 論理と理論
7. 知識と科学
8. 知識の担い手
9. 個人と社会
10. 知識の存在の仕方
11. 知識を進化させるもの
12. 知識と道徳

【評価方法】 論述式試験

【テキスト】 プリントを用意する

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22651	地域の文化と歴史（北太平洋）	選	秋学期	2	2～4	小 谷 凱 宣
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 環北太平洋の民族と文化

【講義内容】 極北・亜極北地帯に属する北太平洋地域の先住民諸文化は、狩猟漁撈活動に特色づけられる。この観点から、地域の先住民文化の特色を概観するとともに、後期旧石器文化の発展とヒトの寒冷地への居住空間の拡大、ベーリング海地域の環境変化とヒトの新大陸への移動、沖積世における先住民文化の発展、農耕・牧畜経済の受容など、この地域に特有の諸問題を紹介、考察する。さらに、西欧近代以降の西ヨーロッパ人、ロシア人の進出の影響、とくに毛皮交易による先住民文化の変容の問題も考察する。

【講義計画】 上記の講義内容に沿って、次のトピックを説明する。

- 1) 北太平洋の海洋生態学的特徴
- 2) 北太平洋に隣接する新旧両大陸北部の自然環境の特徴を、ヒトの居住空間という視点から説明
- 3) ヒトの新大陸への移動・進出の文化的背景
- 4) 環北太平洋地域の先住民文化の発展とその特徴
- 5) 環北太平洋地域から見た日本列島における文化発展の特徴
- 6) 毛皮交易；先住民文化の変容と世界システム

【評価方法】 関心をもつテーマを選択して、各人にレポートを提出してもらう。学期末の成績評価は、筆記試験とレポート内容とを総合しておこなう予定。

【テキスト】 テキストと参考文献リストは、秋学期の最初の時間に手渡す。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22656	地域の文化と歴史（東南アジア大陸部）	選	秋学期	2	2～4	森 部 一
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 「緩やかに組織された社会構造」と「銀河系の政体論（もしくはマンダラ国家論、劇場国家論）」

【講義内容】 東南アジアの地域に共通していると考えられる特徴を、「緩やかに組織された社会構造」と「銀河系の政体論（もしくはマンダラ国家論、劇場国家論）」の二つのテーマを取り上げて論じることによって、この地域に対する理解の深化を目指す。前者のテーマを論じる際には日本との比較にも留意する。なお、時間の関係上、いずれのテーマもタイ社会を中心に上げる予定。

【講義計画】

1. “緩やかに組織された社会構造”をめぐる論争
2. タイ人の行動様式と仏教の倫理
3. 東南アジアの伝統的国家像——Tambiahのマンダラ国家論（＝銀河系の政体論）を中心として

【評価方法】 定期試験・出席などから総合的に評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22661	地域の文化と歴史（東アジア）	選	春学期	2	2～4	大 塚 達 朗
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 東アジア初期先史土器文化論

【講義内容】 日本列島内の先史文化要素は、時として北上したり南下したりすることで一般化する。その場合、九州と北海道とが日本列島内の文化動向の起点の場となる。その九州や北海道は、他方で、列島外の東アジアの特定先史文化との関係の方が強いので、日本列島の枠を越えた大きなシステムの存立を念頭におかねばならない。この場合、日本海を大きな交流の場と見ることを意味する。これを環日本海先史世界と呼び、本講義では、この世界によって結びつけられた東アジア先史文化・新石器文化どうしの関係を論じる。

【講義計画】

下記のテーマにそって講義を進める。

1. 東アジア後期旧石器時代の狩猟採集民の拡散
2. 晩氷期から完新世初頭の環境変動と狩猟採集民の適応
3. 環日本海の交流圏の認定の必要性和その要件
4. 東アジア諸地域の初期先史土器文化の特質
5. 東アジア諸先史土器文化の間地域性と環日本海先史世界

【評価方法】 期間中の小レポートと期末試験で成績を評価する。なお、出欠はきびしく取り、成績に反映させる。

【テキスト】 参考資料を配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22666	地域の文化と歴史（南アジア）	選	春学期	2	2～4	杉本 星子
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 グローバル化のなかの南アジア

【講義内容】 南アジア地域は、冷戦後の国際関係の変化やグローバルな経済変動のもとで大きく変貌しようとしている。講義では、カースト問題やヒンドゥー教とイスラム教のコミューナルな対立など南アジア社会のかかえる諸問題の歴史的背景について、基本的な研究論文の講読をとおして理解し、さらに新聞・雑誌の記事や政治団体のホームページなどから得られる最新情報を分析してそれについて討論するなかで、今日の南アジア地域に関する洞察を深める。

【講義計画】 講義は以下のような構成をとる。各テーマについて約3回の講義を予定している。

第一部 南アジア地域概説

第二部 南アジアの宗教問題

映画『ボンベイ』を題材に、アヨーディア問題、ヒンドゥー至上主義の擡頭、キリスト教徒襲撃事件などについて考察する。

第三部 テロリズムと暴力

映画『デイル・セ』を題材に、テロリズムやスリランカ問題など、南アジアにおけるさまざまな形の暴力の発生について議論する。

第四部 グローバル化と海外在住インド人

映画『ジーンズ』を題材として、グローバル化の進行に伴う海外在住インド人の増加と世界各地のインド移民の新たなネットワークの再編成について考える。

まとめ

【評価方法】 レポート、定期試験などによるが、出欠席も重視する。

【テキスト】 講義中に指示する。

【その他】 OHP、ビデオなど、視覚教材を用いて講義をおこなう。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22671	地域の文化と歴史（東南アジア島嶼部）	選	秋学期	2	2～4	吉田 竹也
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 インドネシアおよびその周辺地域には多数の民族集団が存在している。講義では、とくに資料の豊かなバリを中心として、東南アジア島嶼部の特定地域の社会・文化・歴史について検討することを通して、文化人類的な地域研究のひとつの具体的な姿を明確にするとともに、個別的地域研究から得られる一般論的問題について考察しようとする。

【講義計画】 本年度はバリに関する近年の歴史人類学的諸研究をもちいて、植民地時代以降のバリ宗教表象の系譜学を試みる予定である。まずはじめに既存の人類学的研究に見られるバリ宗教の表象の基本的なパターンと、現在のバリ人の宗教表象の特徴について論じたのちに、そうした表象の系譜を19世紀以降のバリの歴史を彩るいくつかのトピックに照らしながら明らかにしていく。

【評価方法】 出欠状況、受講態度、レポート、期末試験などを総合的に判断して評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22676	地域の文化と歴史（アフリカ）	選	秋学期	2	2～4	坂 井 信 三
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 アフリカ大陸は人類の発生した大陸であるが、長い歴史のなかで独自の文化、文明を創造してきた。講義ではアフリカ大陸全体にわたって、生態的条件の歴史的变化と生業技術の展開をあとづけたのち、話題を西アフリカにしぼってその地域独自の社会、文化の特性を論じる。

【講義計画】

1. アフリカ大陸概観
2. アフリカ史の1万年
アフリカの気候変動と諸民族の分化
牧畜・農耕・冶金術の発生・伝播
国家の形成と長距離交易
イスラーム世界とのかかわり
大西洋奴隷貿易の影響
植民地化と独立
3. ニジェール川内陸デルタの諸民族
民族の分化と共生
経済的交換のシステム
都市の構造
異質なものの共存の流儀

【評価方法】 定期試験による。

【テキスト】 特に指定しない。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22681	地域の文化と歴史（オリエント）	選	秋学期	2	2～4	森 際 眞 知 子
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 古代エジプトの歴史と考古学について、著名な遺跡の調査・研究史、ヒエログリフなどの文献学的方法などの「エジプト学」の基本的な知識と研究法を説明し、古代エジプトの歴史を時代を追って紹介する。

【講義計画】

- (1) 学史を中心に、古代エジプト文明の歴史や文化が解明されていった経過を講義する。
- (2) 第18王朝を中心に通史的な授業を行う。

いずれもビデオ、コピーなどを用い、考古学的な研究と文献からの古代史の研究の両面について考える。

【評価方法】 筆記試験（出席重視）

【テキスト】 適宜、参考文献を紹介

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22686	地域の文化と歴史（ヨーロッパ）	選	春学期	2	2～4	周 藤 芳 幸
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 エーゲ海考古学の諸問題

【講義内容】 エーゲ海に浮かぶ無数の島々とそれを取りまく世界は、隣接するアナトリアやエジプトから影響を受けながらも、早くから個性的な文化を育み、それはやがて古典ギリシア文明として開花することになる。この講義では、ビデオやスライドを通してエーゲ海の景観や遺跡を紹介しながら、ギリシア文明の成立過程にかかわる紀元前8世紀までのさまざまな考古学的問題について、最新の知見を踏まえながら論じていく。

【講義計画】

- (1) エーゲ海の景観と環境
- (2) ギリシア考古学の展開
- (3) 考古学と古代ギリシア史
- (4) 新石器時代のバルカンとエーゲ海
- (5) 初期青銅器時代の文化グループ
- (6) クレタ宮殿文明の成立
- (7) クレタ宮殿文明のエーゲ海への展開
- (8) ミケーネ文明の興隆
- (9) ミケーネ文明と西アジア世界
- (10) 「紀元前1200年の破局」と東地中海世界
- (11) 初期鉄器時代の諸問題
- (12) 紀元前8世紀のルネサンス

【評価方法】 講義への出席状況および定期試験の結果による。

【テキスト】 講義中に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22691	地域の文化と歴史（南アメリカ）	選	夏期集中	2	2～4	加藤 隆浩
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 南アメリカの文化人類学

【講義内容】 新大陸の雄大な自然のなかで発達したマヤ・アステカ・インカなどは、独自の高度文明を展開させて、多くの謎を残したまま消え去った。この講義では最新の情報を駆使し、ラテンアメリカの古代文明に関して現在までに何が解明され、また何が解明されていないのかを明らかにして、闇に包まれた古代文明の神秘のベールを剥がしていく。

【講義計画】 この講義で取り扱うテーマは以下の通り。

国家起源論
 エコロジーとエスノ・エコロジー
 喰人論
 魔女の発生
 歴史観と集合的記憶
 エスノヒストリーと世界システム
 動物とシンボリズム
 図像の読み方
 ドラッグ文化
 レヴィ・ストロースと神話
 限定された善きもののイメージ
 首狩りと身体彩色

【評価方法】 レポートと学期末試験

【テキスト】 未定

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22696	物質文化論	選	秋学期	2	2～4	早 川 正 一
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 人類が地球上に出現して以来、知能の発達と共に生活を安定させ充実させるため、さまざまな文化を開発し、展開してきた事実がある。

発達する人類の知能は、目に見えない精神文化を発達させてきた一方、さしずめ、生存するための有効な手段として「道具」を開発し、それは各々の環境や行動に適合した技術となって発達し、改良されて変化し、時によっては効果を失って棄てられていった。

この講義の主旨は、物質文化の本質を把握させる総論にあり、下記のような計画のもとにすすめてゆく予定である。

【講義計画】 「物質文化とは何か」を理解させるため、「もの」と総称される有形物の機能や諸相を平易に示す教材を毎時間に用意する。

テキストとしては、図解の多い英文の教材を主軸にし、適切な実物資料を博物館から借用し、臨時の教材として補充する。

【評価方法】 毎時間、出欠席カードを記入させ、出欠席の状況を成績に反映させる。講義の理解を促すため、適宜に小テストを実施し、期末試験と合わせて総合評価する。欠席過多は不合格とする。

【テキスト】 開講の際に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22701	文化交流史	選	秋学期	2	2～4	伊 藤 秋 男
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 4・5世紀のユーラシア大陸

【講義内容】 ヨーロッパから中央アジアを経て東アジアを包括するユーラシア文化史学は、ここ四半世紀のあいだに長足の発展をとげ、江上波夫氏の提唱する騎馬民族征服王朝説を補強するデータに恵まれるようになった。騎馬民族の特有文化である多鈕鏡、骨製補強具のついた反転弓、人工的頭蓋変形の風習、銅鍍（ケトル）などが検出された遺跡地を文化誌論的に紹介するとともに、これらを比較文化論的に分析することによって、4・5世紀におけるユーラシア大陸に展開した東西文化の交流史を浮びあがらせてみたい。

【講義計画】 個々の知識を修得することは、それほど大切なことではない。できるだけ毎回、プリントやスライドなどの映像を通して、たくさんの考古資料を提供するから、これらの資料を材料にして、受講者の皆さん自らが、主体的に考えていただく時間にしたい。

【評価方法】 筆記試験と出席回数などから総合的に評価する。

【テキスト】 必要に応じてプリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22706	対照言語学	選	夏期集中	2	2～4	鷲 尾 龍 一
他の科目 との関連	人類文化学科科目「言語と知識(統語論)」、または、日本語学科科目「日本語学特殊講義(統語論Ⅰ)」を、2001年度春学期までに履修していること。					他学科 履 修 可

【講義内容】 受動、使役、結果等の構文を、対照言語学の視点から考察する。日本語とアジア、ヨーロッパの諸言語と比較することによって、日本語文法における普遍性と特殊性を具体的に検討し、日本語の言語類型論上

の位置付けについても考える。

【評価方法】 レポート

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22711	記号論	選	春学期	2	2～4	大 沢 秀 介
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 記号がいかにして意味を獲得するのか、また、人は記号をどのように理解するのか、さまざまな現象、とりわけ人間の行為を記号として見たときに見えてくる自然現象や社会現象の意味などを、記号論の見地から考察する。

【講義計画】

1. 記号論入門 記号論の問題意識
2. ソシュールの記号論 1 音韻論、能記と所記、力学モデル
3. ソシュールの記号論 2 パラダイムと体系性
4. ヤーコブソンの記号論 二軸理論の展開
5. パースの記号論 1 記号の定義
6. パースの記号論 2 イコン、インデックス、シンボル
7. パースの記号論 3 カテゴリー論
8. 記号と認識 記号過程としての認識モデル
9. 記号と論理 1 主張と推論を描写する
10. 記号と論理 2 円と文字だけの論理学
11. 記号と論理 3 他の図的論理学との比較
12. 記号と論理 4 コンピュータへの応用

【評価方法】 論述式試験

【テキスト】 プリントを用意する

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22716	意味論	選	夏期集中	2	2～4	TANCREDI Christopher
他の科目との関連	人類文化学科科目「言語と知識(統語論)」、または、日本語学科科目「日本語学特殊講義(統語論Ⅰ)」を、2001年度春学期までに履修していること。					他学科履修可

【講義内容】 意味分析概説。語彙の意味、名詞間の照応関係、数量詞の解釈等について詳しく論じる。英語のデータを主に扱うが、分析の方法を日本語にも適用しながら、授業を進めていく。(講義は、英語で行なう。)

【評価方法】 レポート

【テキスト】 講義の初日に紹介する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22721	自然人類学	選	春学期	2	2～4	渡 邊 毅
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 広く人類文化を修得させるためには、文化や社会の側面の人類学を学ばせる一方で、形態や体質上の人

類学を学ぶことも重要である。この講義では、人類の進化に関わる諸問題をテーマに、サルとヒトの両面から自然人類学の立場で講述する。

- 【講義計画】
- 1) 日本のサル学
 - 2) サル学からの問題提起
 - 3) 日本の自然人類学
 - 4) 日本列島人の起源論
 - 5) 21世紀の課題

以上の項目で半期間の講義をおこなう。

【評価方法】 授業への参加態度、出席状況、期末テストで総合的に評価する。

【テキスト】 授業中に参考文献の紹介をおこなう。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22726	政治人類学	選	春学期	2	2～4	石 井 眞 夫
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 文化人類学における政治研究は「政治人類学」と呼ばれる。この分野はたんに政治組織や権力構造の研究にとどまらず、社会のなかに不均等に配分される「力」と、その行使に関わる諸問題を幅広く考察する。したがってここでは、中央集権化した政治組織のみならず、親族・部族・年齢組織などに分散・浸透した権力も問題となる。本講義では、それらの多様な政治組織や政治過程を分析するとともに、政治的力と霊的力の関係についても論じる。

- 【講義計画】
- 1) 人類学における政治研究の概要
 - 2) 「力」の観念をめぐる民族誌
 - 3) 政治組織としての親族体系
 - 4) 年令組織と年令集団
 - 5) 権力と勲功祭宴
 - 6) 王権と首長制
 - 7) まつりごととしての政治

【評価方法】 試験による

【テキスト】 なし

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22731	文化人類学フィールドワークⅠ	選	春学期 (夏期学外授業あり)	2	2～4	吉 田 竹 也
他の科目との関連	かならず、同一担当者のⅠとⅡを通年で履修すること。					他学科履修不可 (但し旧人類学科は可)

【講義内容】 文化人類学という学問の特徴は、文献研究の成果を、自身の現地調査での資料とつぎあわせて、新たな議論の局面を切り開いていくところにある。授業では、まず文献研究によって実地調査の場所とテーマを絞り込み、テーマに適合した調査方法を学んだのち、全員で短期間の実地調査をおこなう。共同作業で情報の収集と分析をおこなう手法を学ぶことも、この授業の大切な課題である。

【講義計画】 文化人類学の調査は、個人もしくは少人数での参与観察とインタビューを比較的長期にわたっておこなうことに特徴がある。もっとも長期の調査を授業でおこなうにはさまざまな困難が伴う。そこでこの授業では、少人数のグループ学習のかたちで、まず春学期に学内で事前の学習を各自の発表をもとにおこなったあとに、夏期に約1週間の調査を学外授業としておこなうことにする。なお調査やそれに伴う研究に関わる出費（旅費、滞在費、資料費など）はすべて履修者の個人負担となる。また調査をやり放しで終了するフィールドワークなどありえないので、秋学期の資料整理作業（文化人類学フィールドワークⅡのサブワーク）への参加を義務づける。以上の点を了承し、下記の注意点をよく読んだ上で登録すること。なお

登録前の事前説明会に参加した者に履修を認める。

本来この授業は、各自が作成した研究計画案を全員で検討し、研究テーマや調査地を選定するところからはじめるのだが、今年度は奄美・沖永良部島の1村落における「字誌」作成の過程に焦点を当てて現地調査をおこないたいと考える。学内授業では、デスクワークとフィールドワークおよびその後の研究についての計画を立て、全員で分担しながら、調査前に必要な知識や調査の方法について勉強し、結果をレポートとして提出する。

学外授業は、8月末あるいは9月上旬の1週間程度を予定している。現地集合現地解散とする。もっとも履修者の都合にも配慮するので、正確な日程は後日相談して決める。なお参考までに昨年度に開講した同様のフィールドワークの授業（「人類学特殊研究B」）の場合について触れると、現地（沖永良部島）での滞在費は約2万円（公民館を間借りし、自炊）、往復の船運賃が約3万円であった。

【評価方法】

上記の一連の作業に対する取り組み方とレポートを総合的に評価する。また調査に当たっては、インタビューの際のエチケットや人との接し方、団体行動での振る舞いなどが、机上の勉強よりも重要であり、この点も評価の対象とする。

【その他】

注意点

・授業の性格上、多人数に履修を認めることは不可能である。履修希望者が適正数をこえる場合は、事前説明会での熱意、面接やレポートなどを基準として、履修者を絞り込む作業をおこなう可能性がある。あらかじめこの点は覚悟しておいてほしい。

・履修を希望する者は、①授業担当教員による事前説明会に出席し、②その際に指定された方法で予備の登録をしておくこと。また③指定された期日までに、フィールドワークのテーマや事前と事後のデスクワークの見通しなどに触れた研究計画案を作成し、指定の方法で担当教員に提出すること。これらの要件を満たさなかった者には履修を認めない。

・この授業の趣旨は、デスクワークとフィールドワークの往復作業を、最初のステップから共同で体験することにある。通常の授業以上に履修者の負担は大きい（多大の宿題や予習は覚悟すること）、集団行動ゆえの困難も予想される。中途半端な気持ちで履修した者が、授業の円滑な進行を妨害する恐れもある。物見遊山の参加者や、目的意識の不明確な者、共同作業の苦手な者は登録しないでほしい。逆に時間と労力を惜しまず主体的に取り組む者、授業が終わった後にも任意でさらに継続的な作業に取り組もうとする者を歓迎する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
22732 22737	文化人類学フィールドワークⅠ・Ⅱ	選	春学期 (夏期学外授業有) 秋学期	各2	2～4	石原 美奈子
他の科目との関連	かならず同一担当者のフィールドワークⅠ・Ⅱを通年で履修すること					他学科：不可 履修：(但し旧人類学学科は可)

【講義内容】

文化人類学フィールドワークⅠ

文化人類学という学問の特徴は、文献研究の成果を自身の現地調査による資料とつぎあわせ、新たな議論の局面を切り開いていくところにある。授業では、まず文献研究によって実地調査の場所とテーマを絞り込み、テーマに適合した調査方法を学んだのち、全員で短期間の実地調査を行う。共同作業で情報の収集と分析をおこなう手法を学ぶことも、この授業の大切な課題である。

文化人類学フィールドワークⅡ

文化人類学フィールドワークⅠでの学習と実地調査の成果をもとに、そこで得た資料と文献研究とをつぎあわせ、討論・分析を経て、共同で当初のテーマに沿ったレポートにまとめる過程を体験する。

【講義計画】

文化人類学においてフィールドワークは、ある特定の地域に一定期間住み込み、住民へのインタビューを行うと同時に調査者自身も住民の様々な活動に参加しながら観察を行うという作業形態をとる。また、フィールドワークは、事前に関連情報を収集し、事後にはその結果を報告書にまとめるという作業も伴う。本授業では、文化人類学では欠かすことのできないフィールドワークという作業を実施するための方法論を学ぶと共に、履修者に実際にフィールドワークとそれに伴う様々な作業を体験してもらう。

フィールドワークⅠ（春学期）では、まずフィールドワークを行うための準備として、地域選定、文献資料の収集及び調査計画の執筆を行う。フィールドワークを行う地域に関しては、国内である限りとくに制限を設けないが、フィールドワークは合同で分担作業によって行うものとし、地域は、各自関心のあるテーマ、費用、日程、現地の事情等を十分に考慮に入れた上で、話し合いにより選定するものとする。調査にかかる費用は基本的に履修者の個人負担とし（昨年度、フィールドワークを行った関連授業「人類学特殊研究」の例を挙げると、岐阜県大野郡白川村での1週間の調査にかかった費用は一人あたり約3万円であった）、現地調査の日程は夏期休暇中1週間程度とする。調査地域が決まったら、関連する文献資料を収集する作業を分担して行い、各自調査計画を立て発表してもらう。

フィールドワークⅡ（秋学期）では、フィールドワークⅠで集めた文献資料と夏期休暇中に行った現地調査で得られた資料や情報をつぎあわせ整理・分析した上で、最終的にレポートの形にまとめる。

なお、フィールドワークのノウハウに関する知識がない場合でも履修可能であるが、そのような学生が多数を占める場合には、フィールドワークⅠで、地域選定等の事前準備と並行してフィールドワークに関する

英語の概説書を読むことにする。また、フィールドワークⅠとⅡは、事前準備・現地調査・レポート作成の作業が連関しているので、同一担当教員のものを必ず通年で履修するものとする。

【評価方法】 フィールドワークⅠ（春学期）は、各自作成する調査計画、フィールドワークⅡ（秋学期）は、各自作成するレポートを評価対象とする。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22736	文化人類学フィールドワークⅡ	選	秋学期	2	2～4	吉 田 竹 也
他の科目との関連	かならず同一担当者のⅠとⅡを通年で履修すること					他学科履修 不可 (但し旧人類学科は可)

【講義内容】 「文化人類学フィールドワークⅠ」での学習と現地調査の成果をもとに、そこで得た資料をあらためて文献研究とつぎあわせ、討論・分析し、共同でレポートや報告書にまとめる過程を体験する。

【講義計画】 春学期での事前のデスクワークと学外でのフィールドワークの成果とを踏まえつつ、これにあらたな事後的学習を総合したかたちで、各自の発表をおこない、既存の研究にたいして自分たちが何をおこなったのかを評価していく。なおフィールドワークの資料の整理は、グループの作業として授業の外でおこなうことにする予定である。そして一定の段階で研究成果をとりまとめる。

【評価方法】 上記の一連の作業に対する取り組み方、個人レポート、グループで作成する報告書などを総合的に評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22741	考古学フィールドワークⅠ	選	春学期	2	2～4	重 松 和 男
他の科目との関連	「人文学基礎論（考古学入門）」または「考古学A」「考古学B」をすでに履修していること。					他学科履修 不可

【講義内容】 考古学において「遺跡」の調査は「もの」自体の研究とともに、二大特色である。考古学フィールドワークⅠはその調査のトレーニングとして、まず測量・実測・写真・層序の理解・調査日誌記入法など発掘方法についての基本を習得し、その後、実際の調査現場での体験的実習を行うことが望ましいが、今年度はシミュレーション的に行う。

【評価方法】 試験結果に出席を加算する。

【そ の 他】 実習型式の授業のため、欠席に対しては厳しい。また遅刻は原則として許さない。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22746	考古学フィールドワークⅡ	選	秋学期	2	2～4	重 松 和 男
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 考古学フィールドワークⅡでは、考古学フィールドワークⅠの実地調査の結果を報告にまとめる過程を実践させる。遺物の水洗・注記・台帳作成から実測・写真撮影、分類・整理後の図版作成、現場での各種図面の整理・図版化、成果の文章化が主要な項目となる。

【評価方法】 試験結果に出席を加算する。

【そ の 他】 実習型式の授業のため、欠席に対しては厳しい。また遅刻は原則として許さない。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
22751	人類文化学特殊講義（構造と進化）	選	秋学期	2	2～4	江 本 純
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】

形態学は相同という概念をその基盤として成立する学問である。相同概念そのものは形態の構造や機能の類似性から議論されてきたが、生物の進化を土台とする中で、相同概念と形態の個体発生ならびに系統発生上の起源の問題が同時に論じられるようになり、形態学そのものが新しい局面を迎えつつある。この講義では、構造とは何か、機能はどのように成立するのかといった形態学の基本問題を、昆虫の多様な形態を通じて論じる。

【講義計画】

形態学は生物の形を単に記述する学問ではありません。形態学のもっとも重要な点は、形態の構造を明らかにし、その構造の成り立ち・由来を探求することにあります。講義は、私たち人間が『形』をつくっていくプロセスと、生物が遺伝子DNAの設計図に従って『体』をつくっていくプロセスにどのような違いがあるのかを明らかにしながら、生物の『かたちづくり』を学ぶことから始めます。

生物の『かたちづくり』は細胞分裂を手段にし、どこに何をつくるのかという全体と部分の位置関係を見事に実現している。しかし、さらによく観察すると、同じような『形』が並んでいることに気づきます。生物の体はたいへん複雑にできていると思いがちですが、実は意外に単純な構造の繰り返しであることが多いのも事実です。このことに最初に気づいたのはかの有名な文豪ゲーテでした。しかし、近代生物学は生物の形を自然選択により進化してきたものと考えてきました。確かに生物の形は進化してきたのですが、形態がどのような規律性をもって進化するのか、その全貌はまだまだ明らかにはされていません。わたしたちは自然・生物（すべての事物といってもいいのですが）を体系的に理解しようとしています。分類学（体系学：systematics）はその体系化のための学問です。

1. 私たち人間は『かたち』をどのように作るのだろうか。
ある形をつくるプロセスを詳細に記述し、私たちの『かたちづくり』の計画性がどのようなものかを調べます。
2. 生物の体の『つくり』の特徴を調べる。
生物の『かたちづくり』と私たち人間の『かたちづくり』の計画性にはどのような違いがあるのでしょうか。
3. 生物の形の概念、類似と相同を勉強します。
4. 生物が遺伝子DNAという設計図をもとに、どのように『かたち』を作っていくのかを見てみます。
最近では『かたちづくり』の遺伝子がかなりたくさんわかってきました。意外なことにハエなどの昆虫から、私たち人間の体をつくる遺伝子は同じものであるということです。生物の『かたちづくり』は昆虫からヒトまで共通した基本設計図をもとに行われ、同じ遺伝子でハエではハエの頭、ヒトではヒトの頭をつくるのです。
5. 生物の『かたちづくり』の特徴を学んだ後、私たちは生物の『形』をこれまでどのように理解してきたかを、ゲーテの形態学から学んでみましょう。
6. 近代生物学のダーウィニズムでは『かたちづくり』をどのように理解するのでしょうか。ダーウィンの著書『種の起源』の一節を精読します。
7. 生物の『かたち』にひそむ歴史性を考えてみましょう。『かたち』にはその生物がたどってきた道筋が刻まれています。
8. 私たちが何かを認識するとき、必ず観察・分類を行っています。その過程で私たちは何を認識しようとしているのでしょうか。分類学はただ単に形の異なるものを順番に並べているわけではありません。分類学（systematics）はまさに体系学です。この講義の最後に体系学とはどんな学問か、そしてどのような発想で体系が作られているのかを見る中で、自然をどのように理解していくのかを学びます。

【評価方法】

講義はゼミ形式で行います。そのため参加者はディスカッションのためのレポートを準備・提出しなければなりません。評価はレポートの内容とディスカッションへの積極的な参加を基礎に行います。筆記試験は行いません。

【テキスト】

生物学教室で準備する資料のほかに、参考文献を紹介します。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22756	人類文化学特殊講義（統語分析）	選	春学期	2	2～4	斎 藤 衛
他の科目との関連	「人文学基礎論（言語学入門）」をすでに履修していること。					他学科履修 可

【講義内容】 文法論における主要な論文をとりあげ、議論する。特に、句構造と文法格、移動現象、計量詞解釈に焦点をあて、1970年代、1980年代に提案された分析、仮説を検討する。

【講義計画】 通常は、「言語と知識（統語論）」で学ぶ内容を前提とするが、本年度に限り、「人文学基礎論（言語学入門）」を履修済みの2年次生を対象とする。講義の具体的な内容は、受講者と相談して決定する。

【評価方法】 試験

【テキスト】 授業中に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22761	人類文化学特殊講義（指示の問題）	選	秋学期	2	2～4	青 柳 宏
他の科目との関連	「人文学基礎論（言語学入門）」、「言語論」などの科目で、生成文法の統語論の基礎を既修のこと。					他学科履修 可

【副 題】 自然言語における照応関係

【講義内容】 指示（reference）の問題は哲学と言語学の両分野でそれぞれ独自に研究されてきたが、近年その間の溝は埋まりつつある。本講義では主に言語学的観点から、照応関係（anaphoric relations）を取り扱い、主として日本語、英語のさまざまな現象を考察する。

【講義計画】 本年度はつぎのようなトピックを論ずる予定である。
 (1) 同一指示(coreference)と代名詞(pronouns)
 Pronoun はnounの代わり？
 (2) 束縛照応(bound anaphora)と照応形(anaphors)
 “Every student hates his professor” –everyはなぜ単数で受けるのか？
 (3) 統御(control)とゼロ代名詞(zero pronouns)
 「君、ごはん食べた？」「うん、食べた」－日本語は「穴」だらけ？

【評価方法】 2、3回的小レポートと期末試験の結果を統合して評価する。

【テキスト】 プリントを配布する予定。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22766	人類文化学特殊講義（文化と象徴）	選	春学期	2	2～4	吉 田 竹 也
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 現代の文化人類学は、「文化」を意味象徴的構成体として捉える認識を、その理論的基盤のひとつとしている。講義では、この文化をめぐる基本的認識について説明した後に、文化人類学における主要な文化理論・世界観研究・意味象徴分析を順次取り上げ、その議論の内容や民族誌データとの関連について検討していき、意味論研究の可能性や現状での課題について考察する。

【講義計画】 1) 序論
 2) 文化の誕生／文化の系譜学
 3) 文化の理論的定式化

- 4) 広義の文化・狭義の文化
- 5) 文化の意味論
- 6) 構造主義
- 7) 儀礼の構造と意味論
- 8) 認識人類学
- 9) 解釈人類学
- 10) 構築主義と構造主義
- 11) 文化構築主義と伝統の創出論
- 12) 結論

【評価方法】 出欠状況、受講態度、レポート、期末試験などを総合的に判断して評価する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22771	人類文化学特殊講義（親族論）	選	秋学期	2	2～4	石 井 眞 夫
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 家族・親族の組織は人類の繁殖のためのシステムである。しかし人類の家族・親族組織は単なる生物学的な繁殖体系以上のさまざまな慣行や観念をもっている。人々のもつ生命観やさまざまな親族慣行は、人類社会の親族組織がもつ重要な一面である。この講義はこのような視点から、人類社会の家族・親族組織を形式的な点のみからではなく、その内側から見ていこうとする。

- 【講義計画】
- 1) 自然の中の親族（繁殖システムとしての親族）
 - 2) 人間社会における性と性差
 - 3) 家族と生活空間
 - 4) 家屋空間と家族
 - 5) 社会組織としての家族
 - 6) 親族名称と親族集団の形成
 - 7) 親族集団と親族集団

【評価方法】 試験による

【テキスト】 なし

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22776	人類文化学特殊講義（縄紋文化論）	選	秋学期	2	2～4	大 塚 達 朗
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 縄紋文化の多文化的再編制

【講義内容】 縄紋文化は、日本列島内で独特・固有な変遷を示す縄紋土器を育んだ文化という理解に加えて、農耕に依存しないが高度な定住性を示す狩猟民による特異な文化と理解されるようになった。列島外の諸先史文化とは没交渉で列島内に高度で特異な内容の単一・等質な新石器文化であることが強調されてきた。はたして、縄紋文化は単一で固有な文化といえるのか、むしろ複雑な由来の多文化的複合の可能性のあることを講義する。

- 【講義計画】
- 下記のテーマにそって講義を進める。
1. 土器を使用する狩猟採集民が日本列島に登場する様子
 2. 九州と朝鮮半島との交流を示す土器文化
 3. 北海道の知られざる土器文化
 4. 亀ヶ岡式土器が広域に波及する背景
 5. 縄原式紋様から見た地域連合の形成
 6. 由来が多様な縄紋土器から見た日本列島先史文化の再構築

【評価方法】 期間中の小レポートと期末試験で成績を評価する。なお、出欠はきびしく取り、成績に反映させる。

【テキスト】 参考資料を配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22781	人類文化学特殊講義（古墳文化論）	選	春学期	2	2～4	伊 藤 秋 男
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 東アジアのなかの日本古墳文化

【講義内容】 日本の古墳時代は、日本が東アジアの政治世界にはじめて公的な外交関係をもとうとした時代である。これに直接関与したか、もしくはその実行を支援したと思われる各地の有力者の古墳を取り上げ、日本の古墳社会が当時の東アジアに果たした政治的・文化的役割について論じる。

【講義計画】 個々の知識を修得することは、それほど大切なことではない。できるだけ毎回、プリントやスライドなどの映像を通して、たくさんの考古資料を提供するから、これらの資料を材料にして、受講者の皆さん自らが、主体的に考えていただく時間にしたい。

【評価方法】 筆記試験と出席回数などから総合的に評価する。

【テキスト】 必要に応じてプリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
22786	人類文化学特殊講義 （「中国」的世界の形成）	選	秋学期	2	2～4	西 江 清 高
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 中国初期王朝の考古学

【講義内容】 「中国」的世界の形成を方向づけたのは、黄河中流域における初期王朝（「夏」・殷・周王朝）の出現であった。では、初期王朝の出現とは如何なる歴史のプロセスであったのか。しばしば国家の出現と同義に論じられてきたこの問題について、本講義では、考古学的な事実を一つ一つ積み上げることで考察していく。まずはじめに、新石器時代に発達した地域社会と、初期王朝時代に生まれた新しい社会との質的な違いを明らかにし、つづいて、黄河中流域において地域集団が統合される過程を具体的に跡づけてみたい。「中国」的世界の原点について考えることで、人類史的な問題の一つに近づくことが本講義の目標である。

【講義計画】
Ⅰ 「中国」的世界の広さ
Ⅱ 新石器時代末の地域社会
Ⅲ 「中原」における初期王朝の出現
Ⅳ 「中原」とは何か
Ⅴ 初期王朝の社会と文化
Ⅵ 再び、「中国」的世界について

【評価方法】 学期末に試験を実施する。

【テキスト】 必要に応じてプリントを配布する。参考文献：小澤正人・谷豊信・西江清高著『中国の考古学』同成社、1999。

人 文 学 部

心理人間学科

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23601 23606	人間関係フィールドワークⅠ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各6	2	山口真人 アッセマ庸代 グラバア俊子 川浦佐知子 楠本和彦 中村和彦 中野清 津村俊充
他の科目 との関連						他学科 履修可

【副 題】 学外での人間関係実習

【講義内容】 フィールドワークⅠでは、学生は福祉関係施設での半年間にわたる「人間関係実習」を行う。教員は適時学生の実習先を訪問し、実習の実際状況を把握し、受け入れ施設との関係を調整する。体験実習と同時に、フィールドワークを通しての学習を促進し明確化するための学内授業を実施し、専任教員がそれぞれの専門領域からの講義を行う。

フィールドワークⅡでは、福祉関係施設での半年間にわたる様々な体験を通して、「生きること」や「人間」とは何かといった問題を考える。教員は適時学生の実習先を訪問し、実習の実際状況を把握し、受け入れ施設との関係の調整にあたる。また、フィールドワークを通しての学習を促進し明確化するための学内授業を実施し、専任教員がそれぞれの専門領域からの講義を行う。

【講義計画】 人間関係フィールドワークⅠ・Ⅱは以下の2つの内容から構成されている。

① 福祉関係施設での実習（水曜日全日）：受講生は、自らが選択した福祉関連施設（養護学校、老人福祉施設、障害者施設、など）で1日を過ごす。また、そこでの体験や学びをジャーナルに記録し、担当教員に提出する。

② 学内での授業（火曜5・6限）：実習先での体験を明確化するための講義や討論、実習が行われる。また、提出されたジャーナルはここで担当教員によるコメントとともに返却される。また、学期の終わりには、フィールドワークで学んだことを発表するための報告会が全体で実施される。

従って、受講生にとって、火曜5・6限と水曜全日（1～8限）が「人間関係フィールドワークⅠ・Ⅱ」の時間となる。

【評価方法】 学外での実習への出席、ジャーナル提出、学内授業への参加、およびレポートの提出による。評価はPF方式で行う。

【テキスト】 実習先までの交通費、養護学校などでは昼食の給食費、等の実費が必要になる。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23611	人間関係プロセス論 (グループプロセス)	選	春学期	4	2	津村 俊充 川浦 佐知子
他の科目 との関連						他学科 履修可

【講義内容】 人間関係の中でも小グループの中で生じる人間関係のダイナミックスを理解する。特に体験学習の実習によるシミュレーションゲームを使いながら、グループダイナミックスの理論とグループワークの実際とを統合的に学ぶ。同時に、グループプロセスに働きかける実際のな技能（リーダーシップ能力）の育成を目指す。2コマ続きでおこなう。

【講義計画】

- 1：体験学習を体験する
：問題解決実習と小講義「体験学習とは何か」
- 2：グループの中に起こるプロセスに気づく
：グループ実習と小講義「コンテンツ(content)とプロセス(process)」
- 3：グループ・プロセスを捉える視点を理解する（1）
：実習「討議と観察」小講義「グループ・プロセスの諸要素（1）」
- 4：グループ・プロセスを捉える視点を理解する（2）
：実習「討議と観察」小講義「グループ・プロセスの諸要素（2）」

- 5: リーダーシップとは何か理解する
: グループ実習と小講義「リーダーシップとは」
- 6: グループ成長と個の成長について考える (1)
: 実習「フィードバック・セッション」と小講義「人間関係トレーニングにおける成長モデル」
- 7: グループ成長と個の成長について考える (2)
: グループ実習と後半に向けての私の成長のためのねらいづくり
- 8: 集団の意志決定のあり方に気づく
: コンセンサス実習と小講義「グループにおける意志決定について」
- 9: ここに起こっていることに意識的に取り組む (1)
: 実習「討議と観察」と小講義「社会的相互作用の循環過程」
- 10: ここに起こっていることに意識的に取り組む (2)
: 実習「討議と観察」と小講義「フィードバックの授受について」
- 11: グループ間の相互作用のあり方に気づく (1)
: 組織実習と小講義「組織: 協働と競争」
- 12: グループ間の相互作用のあり方に気づく (2)
: 組織実習と小講義「これからの組織活動とは」
- 13: この授業でのグループ体験をふりかえり「グループと私の変化」について考える

【評価方法】 出席状況、レポート、テストによる総合評価
最終評価は、「P (Pass:合格)」「F (Failure:不合格)」で行う。

【テキスト】 「人間関係トレーニング」津村・山口編、ナカニシヤ出版、1992

【その他】 この授業は2コマ連続で行う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
23616	人間関係プロセス論 (コミュニケーションプロセス)	選	秋学期	4	2	山口 真人 グラバア俊子
他の科目 との関連	人間関係プロセス論 (グループプロセス) と併せて受講することを 薦めます。					他学科 履修 可

【講義内容】 人間関係の中でも対人間コミュニケーションに焦点を当てる。言語コミュニケーションおよび非言語コミュニケーションの諸領域での体験学習の実習やカウンセリングのトレーニング技法を使いながら、対人間コミュニケーションのプロセスの原理と実際を体験的に理解する。2コマ続きでおこなう。

【講義計画】 対人間コミュニケーションに影響する諸要因の中から、主に「自己概念」、「傾聴」、「感情の取り扱い」、「明確な表現」、「自己開示」などの要因を取り上げて検討しようと考えている。ラボラトリーメソッドと呼ばれる体験学習法を使って、学習者がコミュニケーションの問題を自分自身の体験に即して考えることができるように工夫したい。

【評価方法】 出席、レポートを総合してPF方式で評価を行う。体験的に学習することを重視するので全出席を原則とし、3回以上の欠席者には追加課題を課し、その成果をもって単位認定を行う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
23621 23622	心理学実験 I 1・心理学実験 I 2	選	春学期	各2	2	神谷 俊次
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【副題】 心理学基礎実験

【講義内容】 心理学的研究を行う場合、研究方法を理解しておくことが必要不可欠である。この授業では、いくつかの実験実習を通して心理学的研究法のうちの実験法について理解を深める。授業時間は講義と実習に当てられるが、文献収集やレポートの作成などにさらに多くの時間を費やすことが必要になる。

【講義計画】 1. 実験心理学とは
2. 実験計画法

3. 心理学的測定法：精神物理学的測定法
4. 心理学レポートの様式
5. 実習テーマの解説1
6. 実習テーマの解説2
7. 実習1：ミュラー・リヤー錯視
8. 実習2：鏡映描写
9. 実習3：系列位置効果
10. 実習4：要求水準
11. グループ別研究発表データの分析
12. 研究発表討論会1
13. 研究発表討論会2

【評価方法】 レポートや研究発表、出席により評価する。レポートの提出が実習課題ごとに求められるので、かなりハードな授業であることを覚悟して履修すること。なお、小グループによる実習であるため無断欠席や遅刻は許されない。

【テキスト】 「実験心理学Ⅰマニュアル」を配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23626 23627	心理学実験Ⅱ 1・心理学実験Ⅱ 2	選	秋学期	各2	2	神 谷 俊 次
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 心理学基礎実験

【講義内容】 心理学的研究を行う場合、研究方法を理解しておくことが必要不可欠である。この授業では、心理学的研究法の中の実験法と観察法について、様々な実習を通じて理解、習得することを目標とする。また、実験によって得られたデータの統計的分析やパーソナルコンピュータによる心理学実験の立案などに取り組む。授業時間は講義と実習に当てられるが、観察実習や文献収集、レポートの作成などにさらに多くの時間を費やすことになる。

- 【講義計画】
1. 観察法についての解説
 2. 観察法による研究、観察実習テーマ検討
 3. 観察実習——予備観察——
 4. 観察実習——本観察と観察データ分析——
 5. 観察研究発表討論会1
 6. 観察研究発表討論会2
 7. 実験実習：立体視1——解説と予備実験——
 8. 実験実習：立体視2——実習とデータ解析——
 9. 心理学実験とパーソナルコンピュータ——BASICプログラミング——
 10. 実験実習：短期記憶検索実験——プログラム作成——
 11. 実験実習：複雑反応時間——実験の自動化と統計的処理——
 12. 尺度構成法
 13. 実験実習：好悪尺度作成——対比較法による尺度構成——

【評価方法】 レポートや研究発表、出席により評価する。レポートの提出が実習課題ごとに求められるので、かなりハードな授業であることを覚悟して履修すること。なお、小グループによる実習であるため、無断欠席や遅刻は許されない。

【テキスト】 「実験心理学Ⅱマニュアル」を配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23631	人間関係トレーニング	選	夏期集中	2	2～4	中 村 和 彦 楠 本 和 彦 津 村 俊 充 山 口 真 人
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 Tグループによる人間関係トレーニング

【講義内容】 小クラスに分かれて「Tグループ」を中心的な方法として用いる人間関係トレーニングを行う。グループプロセスについて、リーダーシップについて、自己とは、共感的理解とは、受容とは、人間とは何か、人格的出会いとは何か、などについて体験的に学ぶ。「Tグループ」はグループダイナミックスを創始したゲシュタルト心理学者のクルト・レ빈を中心にして米国で開発された人間関係研究の方法であり、組織管理者、ソーシャルワーカー、教師、カウンセラーなどの養成に必須の体験学習となっている。学外の施設を利用して、合宿形式の集中授業として行う。

【講義計画】 この授業は、5泊6日の学外での合宿形式で行う（2001年度は、8月27日～9月1日の間、名古屋市民御岳休暇村において実施する）。

Tグループは、体験学習の原点である。学生約10名とスタッフ2名が1グループとなり、合宿中にもとに過ごし対話をしながら、自分について、他者について、人間関係について、体験的に深く洞察していくものである。

【評価方法】 合宿・学内授業への参加およびレポートの提出による。評価はPF方式で行う。

【テキスト】 津村・山口（編）「人間関係トレーニングー私を育てる教育の人間学的アプローチ」ナカニシヤ出版

【そ の 他】 合宿費用（宿泊費・食費）として、40,000円を徴収する。また、交通費は別途必要となる。
学内授業を、合宿前として7月7日（土）1～4限にD51教室にて（オリエンテーション及び行き方について）、合宿後として9月29日（土）1～4限にD51教室にて（フォローアップとして）実施するので出席のこと。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23636	自己開発トレーニング	選	夏期集中	2	2～4	中 野 清 グラバア俊子 アッセマ庸代 川浦 佐知子
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 クリエイティブな体験の世界へ、未知の自己との遭遇

【講義内容】 学内授業ではできない集中的な自己理解や人間関係のスキルトレーニングに取り組む。各教員の専門領域に応じてワークショップ形式の小クラスに分れ、創造性の開発、ディベート、イメージワーク、ゲシュタルトアウェアネスなどを例とするテーマに体験的に取り組む。学外の施設を利用して、合宿形式の集中授業として行う。

【講義計画】 4つのワークショップの内から、学内授業の時に1つ選択して、6日間取り組みます。

■「いのち ことば 医の理」（アッセマ庸代）人や自分とどんな風に話していますか？物や者や異文化と何の言葉でかかわっていますか？人のためにいいますか？ここは内省的な沈黙の声に着目するWorkshop。Assertion・素直な自己表現／自己風土化／イメージワーク／知と信／Life Science-Life Fantasy-Life Style／パラダイムワークで自己宇宙の枠を直観する。

■「ビジョン クエスト」（グラバア俊子）。休暇村の自然とさまざまな関わりを持つことによって、大きないのちの循環の中に自己を位置づけてみる。その視点から自分自身、そして他者や世界を、今までと異った光の中に見い出してみよう。そうした体験を通して、自己が内包しているビジョナー未来を切り拓く力を、自分自身のものとしていく。

■「ドリームワーク」（川浦佐知子）。ユングやフロイトが「無意識からのメッセージ」として扱った夢。

夢は自分自身やまわりの人々との関係のあり方について、重要な情報を与えてくれます。深層心理学における夢の位置づけや主な理論を理解し、ゲシュタルトアウェアネス、ドリームシアターなどの手法を使って実際に自分の夢をワークします。

- 「思索と詩作」(中野 清)。自分のうちにひそむ豊かなコトバの世界に目を向けてみる。するとことばがひらく新しい世界が展開するでしょう。現在の自分のあり方、他者、そして自然とのかかわり方を、ともに語りあい、豊かな自然のなかを散策しながら、もういちど見つめなおし、自分のなかに湧き出ることばを詩のかたち凝縮し表現してみます。

【評価方法】 PF方式。参加状況と最終レポートによる総合評価。原則として合宿全日程に参加。

【その他】 集中授業日程：7月30日～8月4日 学内授業は、5月19日(土)1～4限にD51教室にて、他に2コマ(後日掲示)を実施するので出席すること。
定員：各ワークショップ15名、全体で60名。場所：名古屋市民御岳休暇村(長野県)
費用：滞在費、保険料として約40,000円、その他交通費と若干の資料代を予定しています。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
23641	教育学A	選	春学期	2	2～4	三上 茂
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 「人間の人間化への他の人間による援助」としての教育の基本構造を明らかにするために、製作・栽培・飼育・調教・宣伝・洗脳・情報伝達・情報操作と教育の違い、遺伝と環境、本能と学習、生理的早産、社会化と文化化といったトピック、教授・学習理論の歴史などを取り上げ概観する。

【評価方法】 出席状況と期末テストによる。

【テキスト】 用いない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
23646	教育学B	選	秋学期	2	2～4	三上 茂
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 「人間の人間化への他の人間による援助」としての教育の基本構造を明らかにするために、近代学校制度の歴史的沿革・特質・現代の学校の問題点、学校教育の目的と教育過程、学習指導と生活指導、学校経営と学級経営、教育行政・教師の問題などのトピックを概観する。

【テキスト】 出席状況と期末テストによる。

【その他】 用いない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
23651	教育史	選	春学期	2	2～4	林 雅代
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 社会における子どもに対する見方や子どもの教育の在り方が、人口変動や産業構造の変化、近代国家の形成などの諸変化とともに移り変わってきているという、子どもの社会史的観点に立ちながら、欧米や日本の諸研究の成果を参照する中で、教育の歴史を概観していく。

- 【講義計画】
1. 家族規模と子ども
 2. 子育ての態度と実践
 3. 子どもと労働
 4. 近代家族と子どもの「発見」
 5. 近代社会制度と子ども

【評価方法】 授業時の小レポートおよび学期末試験によって評価する。

【テキスト】 特に指定しない。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23656	比較教育学A	選	春学期	2	2～4	CALMANO Michael
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 外国と比較して自国の教育は良くなるのか？

【講義内容】 テキスト（①）を批判的に読みながら、教育学の一分野である「比較教育学」の歴史、理論、主な課題を概説する。主にアメリカ合衆国とドイツとの比較で、日本の教育制度（特に学校教育）の特徴を検討する（テキスト②）。統計学的なデータや実証的な研究にもふれるが、特に科学的研究における価値の問題に焦点を合わせる。

【講義計画】 英語で書かれている文章を教材に使うこともあるが、講義は日本語で行う。授業の大半は（多少一方的な）講義になるが、授業への積極的な参加を可能にする予習を要求する。人数が許す限り、クラス全体あるいはグループによるディスカッションを行う予定。

【評価方法】 授業への出席参加を合格の必要条件とする。講義内容を対象とする筆記試験は行わないが、日本と外国の教育事情を比較する学期末のレポートを課す。具体的なテーマは履修者が自由を選ぶ。レポートの評価に出席参加を加味して成績を決める。

- 【テキスト】
- ① 吉田正晴（編）、「比較教育学」（教職科学講座第8巻）、福村出版、1990年。
 - ② R.P.ドーア著／松居弘道訳、「学歴社会 新しい文明病」（岩波現代選書）、岩波書店、1978年。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23661	比較教育学B	選	秋学期	2	2～4	CALMANO Michael
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 日本の教育問題はユニークなのか？

【講義内容】 日本と諸外国の教育制度の違いと共通点を検討する。各国の教育制度を全般的に取り扱うより、現代しばしば注目されている「問題」、すなわち進学と入試制度、しつけと体罰、学校教育における道德教育、個性と管理教育、教育現場と教育行政、授業と教科書、などについて多面的に検討する。
なお、取りあげる具体的なテーマの選択にあたって、履修者からの希望も参考にする。

【講義計画】 英語で書かれている文章を教材に使うこともあるが、講義は日本語で行う。授業の大半は（多少一方的な）講義になるが、人数が許す限りクラス全体やグループ・ディスカッションを行う。

【評価方法】 授業への出席参加を合格の必要条件とする。講義内容を対象とする筆記試験は行わないが、日本と外国の教育事情を比較する学期末のレポートを課す。具体的なテーマは履修者が自由を選ぶ。レポートの評価に出席参加を加味して成績を決める。

【テキスト】 共通のテキストは使わないが、学期末のレポートのために少なくとも一冊の本を批判的に読むことを期待する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23666	教育社会学	選	春学期	2	2～4	加藤 隆雄
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 教育社会学の古典社会学的源泉について理解を深め、現実的教育現象を見る基本的視角を確立した上で、教育と社会についての教育社会学の諸研究の展開について論じる。

【講義計画】

- 1 社会学的視点とは何か・〈子ども〉の変質と現代社会における社会化
- 2 社会化の理論 (1) フロイト：性的発達の理論／エディプス・コンプレックス
- 3 社会化の理論 (2) ミード：他者の役割取得／playからgameへ／一般化された他者／Iとme
- 4 社会化の理論 (3) デュルケム：近代社会とアノミー／方法的な社会化
- 5 社会化の理論 (4) パーソンズ：ホップズ問題／超自我と社会規範／社会システム／家族
- 6 教育と不平等 コールマン・レポート／ジェンクス／メリトクラシー
- 7 社会階層と教育 コーン／ボールド＆ギンティス
- 8 文化的再生産論 (1) バンズティン：精密コードと限定コード
- 9 文化的再生産論 (2) ブルデュー：文化資本／ハビトゥス／階層文化
- 10 文化的再生産論 (3) ウィリス：労働者階級文化／cultural studies／ジェンダー
- 11 教育と社会移動 ブラウ＆ダンカン／SSM調査
- 12 学校の社会学 学校の機能／学級内相互作用／学歴社会

【評価方法】 出席及び学期末試験。

【テキスト】 特に用いない。参考書は講義時に指示。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23671	教育心理学A	選	春学期	2	2～4	石田 裕久
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 教育心理学の中心的課題である「人間の成長と発達」および「学習」の諸過程について理解を深めるために、乳児期から青年期に至る心身の発達を知的発達、心理社会的発達、自己意識の発達という3側面からたどるとともに、教育と発達のかかわりについて解説する。

【講義計画】

- 1 教育心理学で何を学ぶのか
- 2 発達の考え方
- 3 発達観・子ども観と教育
- 4 知的能力の発達
- 5 社会的・情緒的発達
- 6 自己意識の発達

【評価方法】 定期試験期間中に筆答による論述試験を行う。また、授業内容にかかわるレポート提出を求めることがある。

【テキスト】 杉江修治著『児童生徒理解の教育心理学』（揺籃社）

【その他】 教育免許状取得を希望する心理人間学科生は、必ず履修すること。他学科履修可ではあるが、他学科生は教職に関する科目「学校教育心理学A」には充当できない。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23676	教育心理学B	選	秋学期	2	2～4	石 田 裕 久
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 教育心理学の中心的課題である「人間の成長と発達」および「学習」の諸過程について理解を深めるために、知能・学力・性格などの理論を踏まえて、教育の方法や技術・評価の在り方に関するさまざまな問題について解説する。

【講義計画】

- 1 知能とは何か
- 2 学力をめぐる諸問題
- 3 性格への心理学的アプローチ
- 4 学習と指導
- 5 動機づけの理論
- 6 教育活動の評価

【評価方法】 定期試験期間中に筆答による論述試験を行う。また、授業内容にかかわるレポート提出を求めることがある。

【テキスト】 杉江修治著『児童生徒理解の教育心理学』（揺籃社）

【そ の 他】 教育免許状取得を希望する心理人間学科生は、必ず履修すること。他学科履修可ではあるが、他学科生は教職に関する科目「学校教育心理学B」には充当できない。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23681	人格心理学A	選	春学期	2	2～4	長谷川 雅雄
他の科目との関連	人格心理学B履修のための前提科目					他学科履修可

【副 題】 人間の心とは何かを考える〈入門編〉

【講義内容】 人間の「心」あるいは「人格」とは何かということについて考えていくために、心身症やプラセボなどの心身関連の問題や、人は心理的危機に陥るといったどのような状態になるのかといった問題、さらには心理的援助（心理療法）の基礎的な考え方について、事例を示しながら具体的に述べる。

【講義計画】 具体的には、まず心身症やプラセボなどの心身関連の問題をとりあげ、「身体」を通して「心」の不思議な動きや働きをみていく。続いて、人が心理的危機に陥るといったどのような状態になるのかを、事例を示しながら具体的に述べる。ここで扱うのは、不安、強迫、離人体験、幻覚、妄想などであるが、単に状態像の説明だけでなく、精神病理学や精神分析学が人の「心」や「人格」をどのようにとらえているかを、事例や症状など具体的な対象に則して实际的に述べる。また心理的援助（心理療法）の基礎的な考え方にも触れながら、人間の「心」や「人格」とは何かについて考えていく。

講義形式で行うが、受講者の積極的な質問を歓迎する。また、時間の許す範囲で、心や人格に関する自由討議の場を設けたいと思っている。

【評価方法】 定期（筆記）試験、小レポート、出欠席によって評価する。

【テキスト】 特に指定しないが、参考図書として以下の二冊を挙げておく。

- (1)加藤将明他編『入門人格心理学』（八千代出版）
- (2)清水将之他編『青年期精神衛生事例集』（星和書店）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23686	人格心理学B	選	秋学期	2	2～4	長谷川 雅雄
他の科目との関連	人格心理学Aの続編					他学科履修 可

【副 題】 人間の心とは何かを考える〈続・入門編〉

【講義内容】 数多い心の病の中から、神経症、人格障害、うつ病、精神分裂症などの病状を取り上げ、それぞれにみられる人格特徴や精神力動、家族関係の様相などを具体的に示しながら、臨床事例を通して、健常はもちろん、人間の「心」や「人格」についての理解を深める。

【講義計画】 人格心理学Aと同様の形式で行う。

【評価方法】 学期末に筆記試験を行う。それに、小レポートや出欠席を加味して評価する。

【テキスト】 人格心理学Aに同じ。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23691	発達心理学A	選	春学期	2	2～4	浦上 昌則
他の科目との関連	発達心理学B、心理教育特殊講義（乳幼児期の発達心理）（児童期の発達心理）					他学科履修 可

【副 題】 青年期前期の発達心理学

【講義内容】 誕生から青年期までの人間の心理的発達の理解を深めるために、発達のそれぞれの時期における心理的特徴を概観するとともに、母親、父親、きょうだい、仲間、保育者、教師など子どもをとりまく人間関係の問題や、教育的環境の問題についても解説を加える。

【講義計画】 特に、中学、高校、大学段階の年齢層に焦点をあて、以下のようなトピックスを扱う。

- ・ 人格形成の過程
- ・ 人間関係の変容
- ・ 学校の役割
- ・ 道徳性の発達
- ・ 人生観（職業意識）の発達

【評価方法】 期末試験およびレポートを評価対象とする。

【テキスト】 特に用いない。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23696	発達心理学B	選	秋学期	2	2～4	浦上 昌則
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 大学生程度の年齢段階にある人間の心理についての理解のため、友人・恋愛などの人間関係、性行動の発達・性役割の獲得、知的発達、社会性の発達、アイデンティティ等の人格形成、モラトリウム人間に代表される様々な青年観・青年像などについて解説する。

【講義計画】 特に10代後半から、30歳代中ごろまでに焦点をあて、以下のようなトピックスを扱う。

- ・ 様々な青年観、青年像
- ・ 職業生活に関する諸問題

- ・恋愛・結婚・出産
- ・家庭を形成することとは

【評価方法】 期末試験およびレポートを評価対象とする。

【テキスト】 特に用いない。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23701	教育思想	選	秋学期	2	2～4	三 上 茂
他の科目との関連						他学科履修

【講義内容】 人間と神、人間と動物との間の境界線の取り扱い、天上の火の変質、核の文明といった観点からプロメテウス神話の現代的意味を論じ、また自然と人間、文化・文明、工業と農業、大量消費と廃棄物といったテーマから、生態学的破戒と現代世界の問題について検討する。

【評価方法】 出席状況と期末テストによる。

【テキスト】 用いない。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23706	教育課程論	選	秋学期	2	2～4	CALMANO Michael
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 " How To Make A Curriculum" or " Curriculum As A Special Case of Human (Political) Decision-Making"

【講義内容】 アメリカ合衆国の教育学者Ralph W. Tylerの著書を中心にして、教育課程作りの理論的な基礎を検討する。Tyler理論の主なポイント（学校教育の教育目標設定、学習の達成に役立つ学習経験の選択、学習経験の組織、教育課程の効果の評価）を紹介しながら、日本の学校教育の問題点について考える。

【講義計画】 英語で書かれている文章を教材に使うこともあるが、講義は日本語で行う。授業の大半はTylerの著書の日本語訳を題材にする（多少一方的な）講義になるが、履修者からの質疑に応答できる、ディスカッションを含むクラス運営を行う予定。

【評価方法】 授業への出席参加を合格の必要条件とする。講義内容を対象とする筆記試験は行わないが、授業の内容に関連するテーマを取りあげる学期末のレポートは、授業参加に与える基本点とともに、成績を決める基準となる。

なお、レポートの具体的なテーマは履修者が自由に選ぶことが出来る。

【テキスト】 Ralph W. Tyler著、金子孫市監訳、「現代カリキュラム研究の基礎 一教育課程編成のための」。社団法人日本教育経営協会、1978年。この本は厳密な意味での「テキスト」ではないので、これを読むだけでは授業参加に代わるものとされない。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23711	学習心理学	選	夏期集中	2	2～4	関 田 一 彦
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 子どもの学びを考える

【講義内容】 「発見学習」、「仮説実験授業」、「プログラム学習」、「オープン・エデュケーション」、「習熟度別指導」、「バズ学習」、「集団主義教育」、「CAI」、「ティーム・ティーチング」などの教育現場で実際に実践されている様々な学習指導法を、その背景にある原理、典型的モデル、実践事例から理解していく。

【講義計画】 まず、「なぜ子どもは学校で学ぶ気になるのか？」あるいは「なぜ学ぶ意欲を失うのか？」を考えます。次に「学ぼうとする」態度や意欲を伸ばし励ますために教師は何をすべきかを考えます。このとき、多様な教授方法について概観・解説します。最後に、学習活動（授業）舞台である学級集団と子どもの学びの関係について考えます。また、最近の教育改革の動向や子どもを取り巻く社会の変化が子どもの学びに与える影響について、可能なら（履修者数や時間の制約が許せば）、「遊び」「家庭」「学校生活」「教育政策」「塾」「地域」「マスコミ」「若者文化」などテーマを決めてグループでミニレポートを作成・発表してもらうつもりです。その場合、レポーターは学んだことを単に報告するという形ではなく、それぞれのテーマでどんな論点があるか、課題の提起を行ない、論議のための材料を提供し、討論の司会という仕事も受け持ってください。

【評価方法】 ミニレポートも含めた授業への参加度と、試験の結果を合わせて評価します。

【テキスト】 杉江修治（1999）「学習指導改善の教育心理学」揺籃社 定価1,333円（外税）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23716	認知心理学	選	秋学期	2	2～4	川 口 潤
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 「わかる」しくみを探る

【講義内容】 人間の認知や行動の仕組みを、情報処理的な枠組みでとらえる認知心理学に関する基本的知見について、「思い出せない記憶はなくなっているのか」といった日常生活で出会うさまざまな具体的現象を取り上げながら、主として認知心理学的記憶研究の基礎と新しい研究の流れを解説する。

【講義計画】 次のようなトピックを取り上げる。

1. 心のイリュージョン：認知の歪みについて
2. 認知心理学の成り立ち
3. 認知心理学の研究法
4. 記憶のモデル
5. 注意と意識
6. 作動記憶
7. 長期記憶：符号化と検索
8. 長期記憶：知識と意味
9. イメージ
10. 潜在記憶
11. 記憶の歪み
12. 記憶と感情
13. 日常場面における認知

【評価方法】 レポート、試験による

【テキスト】 授業中に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23721	社会心理学	選	春学期	2	2～4	森 久美子
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 社会的環境の理解プロセス

【講義内容】 個人が他者に対して、どのように自分を見せようとしているのか、他者とのコミュニケーションにおいて、ノンバーバルコミュニケーションはどのような役割を果たしているのかについて、自己開示、対人コミュニケーション、社会的促進、流行現象などのトピックを取り上げ概説する。

【講義計画】

1. 自己を知る
2. 自己を伝える
3. 対人関係の形成
- 4～5. 他者との協調と葛藤
- 6～7. 他者を知る
- 8～9. 社会的判断
10. 社会の中での責任
- 11～12. 普及過程とメディアの影響

【評価方法】 定期試験（筆記）

【テキスト】 小林裕・飛田操 編著「教科書・社会心理学」北大路書房

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23726	心理教育特殊講義 (乳幼児期の発達心理)	選	春学期	2	2～4	後藤 宗理
他の科目 との関連						他学科 履修可

【講義内容】 人間の発達過程のうち、誕生から幼児期までの心理的発達について講義する。発達のそれぞれの時期における心理的特徴を概観するとともに、子どもをとりまく多様な環境について理解を深めることを目的とする。とくに、母親、父親、きょうだい、仲間、保育者との関係の様相についてとりあげる。
なお、夏休みのはじめに保育園見学を予定している。

【講義計画】

- 1 オリエンテーション（講義の進め方）
- 2 発達についての基本的考え方
- 3 胎児期の発達
- 4 新生児期の発達
- 5 乳児期の認知発達
- 6 乳児期の対人関係の発達
- 7 幼児前期の発達
- 8 基本的生活習慣の形成
- 9 幼児前期の認知発達
- 10 幼児前期の対人関係の発達
- 11 幼児後期の発達
- 12 幼児後期の認知発達
- 13 幼児後期の対人関係の発達

【評価方法】 出席とレポートによる

【テキスト】 後藤宗理編「看護場面に学ぶ発達臨床心理学」樹村房

【その他】 夏休み期間中（9月）に保育園の見学を計画しています。（希望者のみ）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23731	心理教育特殊講義（児童期の発達心理）	選	秋学期	2	2～4	後藤 宗理
他の科目 との関連						他学科 履修可

【講義内容】 人間の発達過程のうち、児童期の心理的発達について講義する。児童期の心理的・身体的特徴を概観するとともに、子どもをとりまく多様な環境について理解を深めることを目的とする。とくに、母親、きょう

だい、仲間、教師との関係についてとりあげるとともに、小学生をとりまく教育的環境の問題について触れる。

- 【講義計画】
- 1 児童期の概観
 - 2 児童期の心理社会的危機
 - 3 児童期の認知発達
 - 4 児童期の学校生活
 - 5 児童期の家庭生活
 - 6 児童期の仲間関係
 - 7 児童期のストレス
 - 8 児童期から青年期へ
 - 9 思春期的特徴

【評価方法】 出席とレポートによる

【テキスト】 後藤宗理編「看護場面に学ぶ発達臨床心理学」樹村房

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23736	心理教育特殊講義（教育制度論）	選	秋学期	2	2～4	林 雅 代
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 学歴主義の意識と構造

【講義内容】 教育に関わる諸制度の確立・導入や、普及・拡大、あるいは改革がもつ意義と問題点、青少年に与える影響などについて考察する。

- 【講義計画】
1. 教育の伝統と近代教育の始まり
 2. 産業化と学歴主義
 3. 地域・階層と学歴主義
 4. 高度成長と学歴主義の汎化
 5. 高度消費社会における学歴主義

【評価方法】 授業時の小レポートおよび学期末試験による。

【テキスト】 特に指定しない。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23741 23746	カウンセリング的対話Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各3	2～4	楠 本 和 彦 中 野 清
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 (カウンセリング的対話Ⅰ) 人と人が向き合い、わかりあい、共感していく“対話”を、悩みを持つ人に対する援助的技法としての“カウンセリング”の観点を含めながら、実習・討議・VTRなどを通して捉えていく。なお、カウンセリングの実習（ミニ試行カウンセリングあるいはロールプレイ）は「カウンセリング的対話Ⅱ」で行う予定である。

(カウンセリング的対話Ⅱ) カウンセリング的対話Ⅰでの学びを基礎としながら、本授業では、他者との間で対話的に生きること、すなわち、自分らしさを大切にしながら他者と援助的に生きることとをさぐる。その際、援助的な対話の中にあつて、他者との対話の中で生じているプロセスに気づくことができる感受性の訓練や、援助的に他者と関わることができる働きかけのスキル訓練にも重点を置く。

【講義計画】 (カウンセリング的対話Ⅰ) 1. カウンセリングとは？対話とは？、2. 様々な人間観、3. カウンセリングの基礎、4. 対話すること、聴くこと、共感することの実習

(カウンセリング的対話Ⅱ) 次のような内容を取り扱う。1. ミニ試行カウンセリング（20分ほどのカウンセリング、テープに録音）、2. 録音したカウンセリングから逐語録を作成、3. 逐語録を用いながら、

グループでやりとりの分析（グループ・スーパーヴィジョン）、4．ミニ試行カウンセリングpartⅡ、5．自分のカウンセリング理論作り

【評価方法】 グループ学習を中心に行うので、全出席を原則とする。出席状況と数度の課題および期末レポートを総合的に評価する。なお、2回以上欠席した場合は追加課題の提出を求める。追加課題が提出されない場合は、Fとなる。PF方式で評価する。

【テキスト】 特に用いない。ただし、講義中に参考文献を紹介するので、積極的に活用することを期待する。

【その他】 この授業は2コマ連続で行う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
23751 23756	ホリスティック生命環境論Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各3	2～4	アッセマ庸代 川浦 佐知子
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 ホリスティック生命環境論Ⅰでは、人間を宇宙的存在としてとらえ、地球という生命体全体と人間との関わりを、ホリスティックな生命論や環境倫理的な視点から検討する。特に自己とのつながりを明確にするためのイメージやアウェアネスを豊かにする体験を重視する。2コマ続きで行う。
ホリスティック生命環境論Ⅱでは、体験学習法によるライフサイエンス、STS (Science Technology & Society)、先端医療技術、バイオエシックスなどの視点を通して、地球人としての「いのち」の問題を考えていく。各自の生命環境論作りを目指す。2コマ続きで行う。ホリスティック生命環境論Ⅰの先行履修が必要。

【講義計画】 ホーリスティック生命環境論Ⅰでは、
①生命への機械論的、唯物論的アプローチから、ホーリスティックなアプローチへの変化とその必要性の理解。“パラダイムシフト”という現実認知、理解の変容を考察する。
②“関係性”あるいは“つながり”といったものを中心に捉えた視点から“自然”、“いのち”を考える。システム理論やガイア仮説など、生命と環境を統合的、全体的に捉えようとする視点や、ディープエコロジー、エコサイコロジーといった人間と自然の関わりを新たな角度から見つめようとするアプローチを紹介する。
③いのちの流れとしての進化、その流れの一部としての自己を考える。宇宙という広大な時空の内に存在し、地球という惑星に特有の意識、感性をもつ人間の存在のユニークさを再考しつつ、そうした人間が生命をより統合的、全体的に考えることの意味を問う。
以上の内容に様々なエクソサイズや、意見の分かち合いを通してアプローチすることで、自分の価値観、視点などを明確にしていく。
Ⅱでは、身近な人間関係社会の中で もたらされる生命倫理のテーマを、グループまたは個人での研究・発表・討論によって思索や現代の自分自身の価値観やあり方を問う生命環境論を展開していく。社会通念の洗い直しや 生命をめぐるのかかわりの問題 医療文化など、人生の諸段階で出会う 生死のテーマを最終的には「自己の生死観」の意識化につなぐ。
互いに同時代を生きて死んでいくものとして、互いのいのちの尊重を実践的に探る。

【評価方法】 ・授業等参加度・レポート・研究発表の総合評価。
・Ⅱでは、グループ（又は個人）研究・発表への主体的参加。レポートの創意工夫度・出席回数や自己存在感のあるプログラム参画等で評定する。自己評価やフィードバック法も行う予定。

【テキスト】 「パラダイムブック」（日本実業出版社）
文献リスト・VTR・プリント物等適宜提示。

【その他】 この授業は2コマ連続で行う。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23761 23766	ボディワークⅠ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各3	2～4	グラバア俊子
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 からだを通しての自己理解・自己成長

【講義内容】 ボディワークⅠ
心身の統一的な理解のための基礎として、自己のからだに対する気づきをさまざまなアプローチにより深めていく。主なものとして、プレスワーク、フェルデンクライス・テクニク、シン・インテグレーション、ボディ・イメージなどを予定している。これらの技法に関しての実技は学外講師に依頼する。体験的な授業として2コマ続きで行う。

ボディワークⅡ
体験学習により各自のからだへの気づきを深めながら、ボディ・アウェアネス、ノンバーバル・コミュニケーション、五感の教育などに関する研究領域などでの主要文献の検討をおこなうと同時に、受講生自身の成長の方向を探り、各自のボディワーク論作りを目指す。2コマ続きで行う。ボディーワークⅠの先行履修が必要。

【講義計画】 ボディワークⅠ
1、ボディイメージ、ボディアウェアネス等、自己のからだへの気づきを深める。
2、からだの基本的なリズムである呼吸に注目し、自己の呼吸への気づきを深め、呼吸が人間の行動に与える影響の大きさを理解する。プレスワークを体験する。
3、人間の種としての特徴である、二足直立歩行に注目し、自分の立ち歩き方の特徴を知ると同時に、重力場の中でどのような在り方が望ましいか深る。身体再統合の技法であるシン・インテグレーションを体験する。

ボディワークⅡ
1、ボディワークの基本的仮説「自己の象徴としてのからだ」の体験的理解を深める。
2、人間の持つ三つの叡知を理解し、自己や他者の成長そして人間的な社会を創出していくことと関連づけ、自分のライフスタイルの問題として考察を深める。
3、豊かなコミュニケーターになるために、非言語コミュニケーションのスキルを磨く。

【評価方法】 ボディワークⅠ：毎回課されるボディダイアリー、その他の提出物と最終レポートによる総合評価で、PF方式で行う。
ボディワークⅡ：Ⅰと同じ

【テキスト】 グラバア俊子「新・ボディワークのすすめ」ーからだの叡知が語る 私・いのち・未来

【その他】 ボディワークⅠでは、5月19日（土）13時より21時、5月20日（日）9時より17時の2日間、学内において、学外講師によるプレスワークの集中授業を行なう。
また、通常の授業は2コマ連続で行う。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23771 23776	人間性教育論Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各3	2～4	山口 真人 楠本 和彦
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 人間性教育論Ⅰ：教育の内容的側面ではなく人間的側面の研究を行う。特に人間性を豊かにするための教育のあり方について、国内外の諸アプローチを研究する。2コマ続きで行う。

人間性教育論Ⅱ：人間性教育に基づいた教育プログラムの立案と実施の原理と実際を、学生が実際に教える立場に立って各自が立案した教育プログラムを実施し、クリティークを受けながら体験的に学習する。2コマ続きで行う。人間性教育論Ⅰの先行履修が必要。

【講義計画】 人間性教育論Ⅰ
学期の前半は、テキストを中心にして人間性教育に関する理解を深める。講義というスタイルよりもディスカッションや実習を盛り込んで活発に行いたい。学期後半は、前半の授業で広がった人間性教育に関

する視野の中から各自が関心ある教育方法や実践活動を選び、グループ研究と発表を中心にして進める。

人間性教育論Ⅱ

学生が、実際に人間関係の体験学習や人間性教育に基づいた授業を計画・実施し、その体験を通して人間性教育の理論と実際とを検討する。

実際に教師役と学習者役を体験してみることによって、教育的関わりのプロセスの体験が得られるとともに、概念的になりがちな教育論議を体験を踏まえた自分自身の教育論として統合していくことに取り組む。

【評価方法】 出席、発表、レポートを総合してPF方式で評価を行う。体験的に学習することを重視するので全出席を原則とし、各学期3回以上の欠席者には追加課題を課し、その成果をもって単位認定を行う。

【テキスト】 ジョン・P・ミラー著『ホリスティック教育』春秋社

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23781	臨床心理学	選	春学期	2	2～4	長谷川 雅雄
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 クライアントへの理解と援助

【講義内容】 臨床心理学は、心理的苦痛や危機に直面している人に対して、心理的援助を行なうための実学である。本講では、そのようなクライアントの複雑な心理をいかに理解していくかという精神病理学的側面と、その理解に基づいてどのように援助を行なうのかという心理療法的側面との二つを基本的枠組みとして、特定の臨床的病態に焦点を絞り詳しく扱っていく。臨床的病態といっても、健康な心理とまったく異なるものではなく、両者には共通点や連続性が濃厚に認められるのであり、この点にも十分留意しながら進めていきたい。

【講義計画】 講義形式で行なう。

【評価方法】 定期試験（筆記）および出欠席によって評価する。

【テキスト】 教科書は用いない。必要に応じ資料を配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23786	心理検査法	選	春学期	2	2～4	井村 安之
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 各種心理検査法の概説

【講義内容】 様々な心理検査方法の習得に向けて、心理検査を行う場合の態度、検査実施の意味と目的などについて説明した後、代表的な描画法や投影法の解説を行う。

【講義計画】 心理検査とは何か、そして、どのような目的で行われるのかを明確にするとともに、検査施行にあたっての基本原則について説明する。次に、現在、臨床場面で一般的に行われている代表的な心理検査について、適宜、臨床事例を交えながら概説するとともに、実習可能なものについては受講者自らが被検者になり、その実施方法や解釈法の初歩を習得することを目標としたい。

- (1) 心理検査とは何か
- (2) 心理検査施行のための基本原則
- (3) 知能検査・発達検査概説（WAIS-R、田中ビネー、遠城寺式）
- (4) 性格検査・人格検査概説
 - ①質問紙法（MMPI）
 - ②投映法（SCT、TAT、描画法）

【評価方法】 レポートの内容や出席状況などから総合的に評価する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23791	ホリスティック教育人間学	選	夏期集中	3	2～4	中川 吉晴
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 現代の学校教育では教科的な側面に重点が置かれ過ぎてさまざまな問題が生じている。この授業では学習者の全人的な成長を目指した教育の基底になる人間学を検討する。

【講義計画】 本講義では、ホリスティック（全包括的・全人的）な教育を支えるための人間観・世界観を検討する。そのさい代表的なモデルを考察するとともに、参加体験型の作業をつうじて、各自がみずからの見方を築くことができるようにしてゆきたい。代表的なモデルとして、洋の東西からいくつかをとりだして検討する（たとえば、シュタイナー教育、北米のホリスティック教育論、先住民思想、東洋哲学など）。また、人間の身体、感情、思考、心、精神といった側面に注目する。さらに、癒しや臨床教育、グローバル教育、精神性の教育といった広がりも見てゆきたい。

【評価方法】 授業への参加度とレポートによって評価する。

【テキスト】 大半の文献資料は講義時に指示するが、集中講義のため、まえもって講読してもらう必要のある資料については、その旨指示をする。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23796	ゲシュタルトセラピー	選	夏期集中	3	2～4	倉戸 ヨシヤ
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副 題】 現代の心理療法

【講義内容】 精神分析、ロジャースと並んで現代の心理療法の流れに非常に大きな影響を及ぼしているゲシュタルトセラピーの理論と実際を、体験的な実習とワークを通して学ぶ。

【講義計画】 講義と討論を主に、VTRやテープ記録による学習、それに体験学習・ワークなどを予定している。

【評価方法】 レポートによる。評価はPF方式で行う。

【テキスト】 倉戸ヨシヤ編 「ゲシュタルト療法」 『現代のエスプリ』 至文堂

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
23801	人間関係特殊講義（自己分析）	選	夏期集中	3	2～4	木村 晴子
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 人間を知るためには種々の心理検査法が開発されている。それらは他者を知ることを目的に開発されているが、これらを自分を知るために利用することを試みる。このような利用は心理検査法自体に対する理解をも深めることになる。

【講義計画】 絵を描いたり、物語を作ったり、いくつかの心理テストなどを行うことで、「自分」についてのデータを集め、自己分析記録を作成する。特に、ユング心理学の視点から、自分自身の「心」について考え、自分の中に何があるのか、をさぐっていききたい。自分についてのデータは原則としてグループの中でメンバー

とわちあい、お互いにフィード・バックしながら考え、まとめていく。

【評価方法】 自己分析記録としてのレポートを作成し、提出する。

【そ の 他】 市販されている既製のテスト用紙を使う場合は実費を集めます。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
23806	人間関係特殊講義（アジアセミナー）	選	秋学期	3	2～4	池 住 義 憲
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 日本人として、アジア諸国や日本国内で生じている人権を巡る諸問題に対する気づきを広げ、思考を深め、行動化の可能性を探るための体験学習をおこなう。

【講義計画】 他者（隣人）に出会って、自らの生き方・あり方を学ぶ。他者（隣人）に学んで自らを見直し、変えていく。このセミナーでは、私たち日本にいる者がアジアに胸を借りて、アジアから学びます。単に理解を深めたり、また、知識をふやすことを目的とせず、人間としての根源的な生き方を探り、自らを変えることをねらいとして以下のようなテーマ、内容などに向き合い、取り組みます。

- ・『アジアの現実と私たち：アジアの農村女性は今』
- ・『車椅子から考える海外協力・福祉・人間関係・・・』
- ・『滞名古屋フィリピン人女性労働者と私たち』（現地訪問を含め学外で行う）
- ・『二つの性搾取・性差別：“従軍”慰安婦問題と観光売買春』
- ・『沖縄で起こっている日本の問題！』（リソース・パーソンを招いて）
- ・『在日コリアンと私たち』（リソース・パーソンを招いて）
- ・『笹島・栄の日雇労働者との対話』（現地訪問を含めて学外で行う）
- ・『死刑制度と私たち』
- ・『被差別部落の人たちと私たち』、などなど・・・。

【評価方法】 「自己評価」という方法をとります。自分にとって毎日の講義の終わりに、その日の内容は自分にとってどういう意味・価値（Value）があったかを自ら引き出し（Ex-）、「評価（Evaluate）」してもらいます。試験およびレポート提出はありません。一緒に考え合い、学び合うために「出席」を大切にします。尚、評価はPF方式で行います。

【テキスト】 ありません。現実社会で起こっていること（社会の現状・脈絡、コンテキスト）そのものがテキストです。必要があればその都度関連資料などを紹介します。

【そ の 他】 通常授業は2コマ連続で行います。また、2001年10月末もしくは11月初旬の5～8限目の学内授業の続きとして、夕方に学外授業（笹島方面）を行います。

人 文 学 部

日本文化学科

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24601	身体とことば	選	秋学期	4	2～4	土 谷 薫
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 からだとことばのレッスン

【講義内容】 様々な制約によって硬直した身体を、身体とことばによる表現によって、より柔軟なものへと変化させる技法を身につけることで、人間理解の深化をはかる。

- 【講義計画】
- 1) 「からだ」への気づきーからだの内なる感覚に気づくー
 - ・習慣化された「からだ」に気づく
 - ・身構えに気づく
 - ・人に触れ切れない自分に気づく
 - 2) 声と「からだ」を耕すー「からだ」のゆらしを中心にー
 - ・安らぐこと
 - ・イキ（息）を深くすること
 - 3) 声を育てるー声とことばのレッスンー
 - ・他者へ話しかける、働きかけることば
 - ・日本語の発声、発語
 - ・うた、せりふによる表現
 - 4) 劇曲の上演

- 【評価方法】
- 1) 「からだ」と「ことば」がどれだけ豊かに変化したかを観察する。
 - 2) レポートによる理解の深さの判定

【テキスト】 竹内敏晴『「からだ」と「ことば」のレッスン』『日本語のレッスン』
『ことばが勢かれるとき』
メルロ＝ポンティ『知覚の現象学』等

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24606	ディベート	選	秋学期	2	2～4	中 野 清
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 ディベートの方法と実際

【講義内容】 人間の表現行為の基本である口頭表現を、他者とコミュニケーションし、議論して行く技法を身につけることによって、人間理解の深化をはかる。

- 【講義計画】
1. 他者の前でのプレゼンテーション
 2. 「聴く」実習
 3. ディベートの目標と形式について
 4. 「論題」（ディベートのテーマ）の種別について
 5. ディベートの準備方法について
 6. 「立論」（スピーチ）の組み立てと実際
 7. 「反対尋問」の注意点と実際
 8. 「最終弁論」の注意点と実際
 9. ディベートの判定方法と実際
 10. ディベート大会

【評価方法】 出席と実習での状況、学期末のレポート内容を総合して評価する。

【テキスト】 プリントを随時配布する。

【そ の 他】 松本 茂『頭を鍛えるディベート入門』1996（講談社ブルーバックス）または上條晴夫『ディベートに強

くなる本』1995（学事出版）を参考とすることがのぞましい。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24611	文章表現法	選必	春学期	2	2	馬 場 伸 彦
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 人間の表現行為の基本である文章表現を、古今の多様な文章を分析し、また、実際に、文章を書く技法を身につけることで、人間理解の深化をはかる。

【講義計画】 講義は作品の解釈と演習を兼ねて進める。テキストは使用せず、随時、必要なプリントを配布する。

【評価方法】 講義内における課題の提出、受講態度等で総合的に評価。

【テキスト】 随時プリントを配布。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24616	日本文学史概説	選	春学期	2	2～4	美濃部 重克
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 中世の韻文学

【講義内容】 日本文学史の古代から中世、近世から近代を講ずる。作家作品についての正しい知識と歴史的・文学史的位置づけについて講ずる。古代と中世の文学の歴史を、歴史社会また文学の様式との関連において、できる限り広い範囲にわたって講義する。

【講義計画】 『千載和歌集』から二十一代集の終わりあたりまでの勅撰集を中心に、中世和歌の特質とその変容について説く。『古来風体抄』から『正徹物語』あたりまでの歌学書に記されている歌論を取りあげて、幽玄、有心、余情妖艶などの和歌の理念について説く。俊成、西行、定家などを中心に、その歌風について説き、その和歌を解釈する。以上の三点を眼目として、中世和歌について話をする。余裕があれば、連歌についても説くこととする。

1. 日本文学史のなかにおける和歌文学、とくに中世の和歌についての位置づけを行う。
2. 『千載和歌集』『古来風体抄』を中心に幽玄、俊成そして中世の和歌の特質について説く。
3. 『後鳥羽院御口伝』を参考に、西行と定家の和歌について、その違いを説く。
4. 『新古今和歌集』を中心に、達磨歌そして、そこから展開した表現主義的な定家、家隆の和歌に解釈を加える。
5. 『為兼卿和歌抄』『玉葉和歌集』『風雅和歌集』を中心に、八代集以後の歌風と京極派の歌風について説く。
6. 正徹、心敬などの和歌を中心に、「冷えさび」の趣きを展開させる室町時代の和歌について説く。
7. 「水無瀬三吟百韻」を解釈することを通して、有心の長連歌の世界について説く。

【評価方法】 筆答試験による。

【テキスト】 岩佐美代子ほか『新選 中世の文化』和泉書院

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24621	日本文化史概説	選	秋学期	2	2～4	安田 文吉
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 日本近世文化の研究

【講義内容】 日本文化の多様な姿を、文学・芸能・美術・思想・宗教などの様々な面から明らかにする。
日本文化の多様な側面を、具体的な資料や映像に基づきながら、芸能文化という点から明らかにして行く。
日本文化の多様な側面を、具体的な資料や映像に基づきながら、思想・宗教を中心に明らかにして行く。

【講義計画】 近世における国文学史上の大きな特色は、出版（印刷）である。また、寺子屋などにより、読者の底辺が広がり、層の厚いものとなった。これらを中心に、近世文学と近世文化について、その掘って来たる所以を考える。

印刷（出版）の始まりと展開
仮名草子から雑俳（川柳）まで
歌舞伎・浄瑠璃の発展と庶民文化
街道の江戸文化（近世文化）
近世文化の独自性

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 『近世文学研究事典』（おうふう）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24626	日本文化史A	選	春学期	2	2～4	土田 友章
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 近代と日本人

【講義内容】 19世紀後半に世界史の現実突然遭遇した日本人が、主として欧米の文明・文化との比較対照において、自己ならびに世界を意識化していった過程とそこに潜んでいた諸問題を、明治以降の代表的な著作について考察してゆく。

【講義計画】 今年度は、新渡戸稲造の『武士道』、内村鑑三の『代表的日本人』、柳田国男の『遠野物語』、ほかを、検討する。

【評価方法】 次の3点の総合評価による。[1] クラスで検討した書物について的小エッセイ、[2] クラスへの積極的参加、[3] 期末の小論文。

【テキスト】 教材には、複写物、または文庫本を用いる。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24631	日本文化史B	選	秋学期	2	2～4	土田 友章
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 日本宗教思想史入門

- 【講義内容】 日本宗教史の概要を見たあとで、比較宗教史の立場から日本人の宗教伝統の特色を考え、その後、個別に、仏教各派、神道、民間信仰、新宗教、キリスト教などを検討し、さらに日本文化との関わりを考察する。
- 【講義計画】 1. 宗教とは？ 2. 日本宗教史の概観 3. 日本宗教史の特徴 4. 世界の宗教の中で 5. 日本宗教と倫理との関係、など。佛教、神道、「新興宗教」などから話題を採る。
- 【評価方法】 それぞれの教材の予習、クラスでの発表、短いレポートなどが要求される。
- 【テキスト】 教材は、主として複写印刷物を用いる。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24636	日本文化史C	選	秋学期	2	2～4	川 橋 範 子
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 宗教とジェンダー

- 【講義内容】 日本の宗教学や民族学においてこれまで主題にされることの少なかった女性の位置と役割を、ジェンダー論と比較宗教学の視点から考察することによって、日本人の宗教伝統とエトスを再検討する。
- 【講義計画】 女性の宗教体験を取り上げ、宗教が女性の自己実現と抑圧の両方の側面をもつことを考察する。
 1. 宗教学とジェンダー論
 2. 女性の宗教体験
 3. フェミニスト神学
 4. 仏教と女性
 5. 沖縄の女性宗教者
 6. フェミニズムとポスト家父長制の宗教
- 【評価方法】 自由提出のレポートと学期末の筆記試験に基いて評価する。
- 【テキスト】 未定。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24641	日本芸能史	選	秋学期	2	3・4	安 田 文 吉
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 近世歌舞伎研究

- 【講義内容】 日本の近世（江戸時代）の歌舞伎や人形浄瑠璃は、筋立てや時代考証等が実に巧みで、しかも面白く構成されている。そこには、中世以来の説話やそれに先行する説話が取り込まれている。本講義では、江戸時代の歌舞伎や人形浄瑠璃の代表的な作品を取り上げ、その構成・構造を文献学的・書誌学的手続きを踏まえた上で詳細に検討する。
- 【講義計画】 江戸時代の歌舞伎は、明治以後の新歌舞伎とは大いに異なって、筋立てや時代考証等が実に巧みにしかも面白く構成されている。今回も昨年に引き続き『菅原伝授手習鑑』を取り上げて、一つの事件が、どのように浄瑠璃・歌舞伎に取り込まれ、しかも人々にどのように影響を及ぼしていったか、などについて詳しく検討する。本講義では、江戸歌舞伎の代表的作品『菅原伝授手習鑑』を取り上げて、VTRを参照しながら、その構成・構造を考え、あわせて近世芸能の特色を検討する。
- 歌舞伎の成立
 歌舞伎の舞台
 VTR『菅原伝授手習鑑』の鑑賞

それぞれの作品の構成
 それに先行する説話・文学作品・文化の研究
 歌舞伎特有の衣裳・セリフ廻し・隈取り・下座音楽・大道具・小道具
 歌舞伎の音楽
 御園座の四月興行「陽春花形歌舞伎」夜の部の鑑賞と研究
 中日劇場の六月興行「市川猿之助歌舞伎公演」夜の部の鑑賞と研究（春学期）
 御園座の十月興行「吉例顔見世十代目坂東八十助襲名披露興行」夜の部の鑑賞と研究（秋学期）
 近世芸能文化の特色について考える。

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 『歌舞伎入門』（おうふう）、『歌舞伎のたのしみ』（北白川書房）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24646	日本思想史	必	春学期	2	2	櫻 井 進
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 近世から近代に至るまでの日本文化の特色を、儒学・国学・哲学などの思想的・文化的なテキストを取り上げて、テキストの内在的な理解を計るとともに、中国や西洋の影響をも視野に入れながら、社会的・歴史的な観点をも含めて総合的に検討する。

【講義計画】 上田秋成の代表作『雨月物語』を詳細によむ。

- 1) 「白峯」
- 2) 「浅茅が宿」
- 3) 「蛇性の姪」

【評価方法】 筆記試験による。あわせて、出席を重視する。

【テキスト】 『雨月物語 痴物語』

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24651	日本美術史A	選	春学期	2	2～4	池 田 洋子
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 平安時代絵巻物研究

【講義内容】 日本の絵画の中で、空間性と共に時間性を合わせ持つ絵巻という形態の作品の特性について考察する。絵巻各段の詞書部分を講読して、次に絵画部分の構図・色彩などを分析して詞書部分と絵画部分の関係を考察し、絵巻が日本文化において持った意味を明らかにする。

【講義計画】

1. 伴大納言絵詞の全体像
2. 人物表現
3. 環境表現
4. 画面構成法
5. 色彩と描線
6. 詞書からの場面選択
7. 空間の表現
8. 時間の表現
9. 全体の構成の特色

【評価方法】 講義時間内の担当箇所の発表・質疑応答・レポート等を総合的に評価

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24656	日本美術史B	選	春学期	2	2～4	四 辻 秀 紀
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 日本美術の多様な側面を、時代的変遷を追いながら、具体的な絵画資料に基づきながら、様式やメチエなどを中心に明らかにして行く。

【講義計画】 日本人の美意識の代表として、文学や能・茶などの芸能の中で見いだされた幽玄・わび・さび、などがよく知られているが、一方ではこれらと対極をなす、華美や派手さを好む美意識の系譜があった。数寄と美麗を尽くした装飾や度を過ぎた贅沢などを意味する平安時代後期の「風流・過差（フリュウ・カサ）」、儉豪奢・歓楽を追い求めた放逸で自在な風潮をいう南北朝時代の「娑婆羅（バサラ）」、並はずれて華美な風態をしたり、自由放埒なふるまいをするなど、常軌を逸した行動や精神・風俗を指して呼ばれた近世初期の「傾（カブ）く」などの言葉に代表されるように、自由な精神性に裏付けられた時世粧であり、時代の変革期に新しい時代の息吹を吹き込んだ原動力ともなった。

本講座では、これらの言葉に示された各時代の美意識を、絵画・書・工芸品などの遺品と文献を通じて探求したい。

- ①概説
 - ②～⑥風流・過差の美意識（歌合や法華八講などの場で展開された美の世界）
 - ⑦～⑨娑婆羅の時代（闘茶と室礼）
 - ⑩～⑫傾く美の世界（近世初期風俗画に描かれた風俗と美）
- ※スライド使用。学外授業として展覧会の見学を行う。

【評価方法】 出席およびレポート提出

【テキスト】 必要に応じて資料を配付する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24661	英文による日本文化学研究	選	春学期	2	2～4	土 田 友 章
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 日本文化について書かれた英語の論文・著作のいくつかを読みながら、日本文化を見るさまざまな視点に気づき、自文化を考察するよすがとする。参加者自らも、異文化の人々に向かって日本文化を知的に語る事が多少なりとも出来るようになることを目指したい。

【講義計画】 毎回、reading assignments があり、クラスではそれについて解説し検討する。

【評価方法】 クラスでの報告・参加と期末の小論文とによる。

【テキスト】 複写資料による。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24666	物語系文学研究	選	秋学期	2	2～4	辻 本 裕 成
他の科目との関連	国文学特殊講義BⅡ よみかえ					他学科履修可

【副 題】 中古・中世における家族関係・主従関係・性関係と物語・日記文学

【講義内容】 文献学に基礎をおいて、王朝の作り物語の系譜のうえに立つ、またそれに関連するジャンルの文学について講じる。引用関係を厳密に把握したうえで、テキストの文学性を明らかにする方面と、作品の成立と享受の環境を検討したうえでテキストの文学性を明らかにする方面と、二つのアスペクトから件のジャンルと作品について考究する。

【講義計画】 上記の講義概要は抽象的に書いてあり、わかりにくいと思うので無視してください。

古典文学を考える上で、現在とは違った種々の人間関係のあり方を念頭に置くことは極めて重要であるが、それらは現在人があまり経験し得ない人間関係であるがゆえに、つい読み落としてしまいがちである。本講義では、それらの人間関係のうち、次の諸テーマについて、各3回完結見当で授業を進める。

乳母の役割と王朝文学・・・貴族達は、母親によって育てられることは極めて稀で、そう上流でない人でも多くは乳母によって養育された。吉海直人氏らの研究に従いながら、源氏物語ほかの作品に現れる乳母の役割を考える。

召人の役割と王朝文学・・・貴族達は、多く自分自身または血縁の女性に仕える女房と恒常的な性関係を結んでいた。これらの女性を召人と呼ぶ。召人の姿を、源氏物語他の作品から読み取る。

男色と古典文学・・・平安末期頃から、日本では男色が流行する。男色に関する史実を簡単に述べた後、『石清水物語』『風に紅葉』『秋夜長物語』を男色の視点から読んでみる。

『讃岐典侍日記』と『とはずがたり』・・・乳母、召人とどこか重なる人生を送った讃岐典侍、後深草院二条の二人を、その自伝的作品から論じる。

【評価方法】 持ち込み可の試験によるが、我と思わん人はレポートを提出してもよい。ただし、レポートを提出した場合の評価は、A+かFの二つに一つである。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24671	中世文学研究	選	春学期	2	2～4	美濃部 重克
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 『平家物語』の研究

【講義内容】 お伽草子、中世の説話文学、平家物語など、中世の散文学を対象に、作品の成立、様式上の問題、テキストの注釈的かつ分析的解釈を行う。書誌をふまえた文献学的な扱いを基礎に、宗教史、民俗学、文学史、文学論の方面の成果を取り入れて、対象を多面的に捉える。

【講義計画】 『平家物語』について、次の四つの面から考察する。(1) どのように構成されているか。(2) どのような思想にうら打ちされているか、について講義し、作品の巻1～巻6のなかから数句を取りあげて講読する。

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 山下宏明『平家物語』全冊 岩波文庫

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24676	近代文学研究	選	秋学期	2	2～4	細 谷 博
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 小説読解研究

【講義内容】 日本近代の作家と作品を対象として、その精密な読解と解釈、さらに諸説理解を経て、自己の読み取りの正確な把握と理論化の過程を検討する。批評的観点の重要性と問題点についても講ずる。

【講義計画】 主に谷崎潤一郎『細雪』を対象として考察を行う。
『細雪』は、三女・雪子の見合い話を軸に、四女・妙子の恋愛事件をはさんで、二女・幸子と婿である貞之助の夫婦がそれら妹たちの問題をかかえつつ、いかに蒔岡分家のゆたかな生活をまもっていくかが、興味深く描かれた小説である。ありふれた凡人な人々を描きつつ、なお、生の持続の感触をすぐれてあらわしたその表現の実相を検討しつつ、上記の問題を考える。
1 く読み〉の意識化について
2 『細雪』読解
3 分析研究
4 まとめ
●最初の授業時に「進行予定表」を配布する。

【評価方法】 定期試験により評価する。

【テキスト】 谷崎潤一郎『細雪』上中下（新潮文庫）
●参考図書：
細谷博『凡常の発見－漱石・谷崎・太宰』（明治書院）
ジェーン・オースティン（中野好夫訳）『自負と偏見』上下（新潮文庫）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24681	唐宋文学研究（漢文学特殊講義Ⅰ）	選	春学期	2	2～4	西 岡 淳
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 近体詩の成立と盛唐詩

【講義内容】 中国古典、日本漢文学の作家、ジャンル、時代、そのいずれかのまとまりを持つ作品群を研究対象として、一貫するテーマを軸に論ずる。その際、学生の読解力を培うことに特段の注意を払う。

【講義計画】 中国古典文学を代表する表現形式である詩を、音韻的な側面を含めて深く理解することを目標とする。本学は中国における詩の起源、六朝を経て唐代に確立する近体詩の形式的特徴などについて講じ、またその代表的な作家たちについて、伝記や逸話等に触れつつ作品を読み進める。以下の事項について、それぞれ1，2時限程度の講義をおこなう。
1. 漢文の解釈に関する知識と種々の工具書、参考書について
2. 中国語の起源と韻文の展開（楽府と古詩）
3. 六朝の詩人たちとその作品
4. 詩の韻律
5. 初唐の詩人たちとその作品
6. 盛唐の詩人たちとその作品

【評価方法】 論述問題と資料読解の筆記試験による。

【テキスト】 基本的に毎回資料（コピー）を用意する。教科書は特に指定しない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24686	和歌文学研究（国文学講読AⅠ）	選	春学期	2	2～4	高橋 亨
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 伝統を重んじる日本古典文学、たとえば王朝和歌や物語などにおいて、作家たちがどのように伝統的なレトリックを摂取し、またどのように新たなレトリックを創出したかを、作品の表現に即したかたちで論じる。

【講義計画】 歌集や物語の歌における掛詞について、それが掛詞として用いられた事例を示し、物語と歌とに共通する詩学と差異について、個々の事例に即して論ずる。

【評価方法】 試験による。ただし、提出任意のレポートを課し、試験がまずかった場合には考慮に入れる。

【テキスト】 どれでもよいから古今集を用意すること。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24691	源氏物語研究	選	春学期	2	2～4	加藤 洋介
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 藤原定家の古典学－源氏物語の場合－

【講義内容】 伊勢物語、古今和歌集、源氏物語それら三つの作品が平安時代の文学世界の枠組みをこしらえている。中世はその三つの作品をめぐる解釈的営みが、新たな文学世界を作る原動力となっている。そうした理解のもとに源氏物語の作品世界と中世におけるその享受の諸相について論じる。

【講義計画】 伊勢物語・古今和歌集・源氏物語の三作品は、後の中世という時代において、その解釈的営みが新たな文学活動の原動力として機能していたという点で、平安時代の文学作品の中でも際立って重要な存在である。この講義では、そうした理解のもとに、源氏物語の作品世界について講ずるとともに、「青表紙本源氏物語」という本文ならびに「源氏物語奥入」といった注釈などの成果を残した藤原定家を取り上げ、彼の古典学の一環としての源氏物語研究についても触れる。

1. 源氏物語の作品世界－三部構成説について－
2. 光源氏の誕生と予言
3. 須磨流離から政権獲得へ
4. 「太上天皇になずらふ御位」から若菜巻へ
5. 宇治十帖の世界
6. 藤原定家の古典学
7. 「青表紙本源氏物語」について
8. 「源氏物語奥入」をめぐる課題

【評価方法】 授業時間内での数回のペーパーの提出と、筆記試験による

【テキスト】 玉上琢彌『源氏物語』（全10冊・角川文庫）が最もハンディかつ廉価で充実しているが、ほか源氏物語の原文テキストなら何でもよい。他に適宜プリントを配布

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24696	漢文日記講読	選	秋学期	2	2～4	美濃部 重克
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 『玉葉』講読

【講義内容】 台記、玉葉、山槐記、吉記などの漢文日記のなかから本文を選んでそれを講読する。史料・資料の読みかたおよび関連史料・資料の調査の仕方を教授することを目的とする。

【講義計画】 平安時代の末期から鎌倉時代の初頭にかけて活躍した九条兼実の日記『玉葉』は漢文で書かれた日記のなかでも、もっとも内容に富む、面白いもののひとつである。記録体の漢文を読む能力は、古典文学を研究する者にとって必須のものと言ってよい。その能力を開発することを目的とする授業である。寿永から文治にかけての日記のなかから面白そうなところを選び出し、それを講読する。

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24701	文学と歴史	選	秋学期	2	2～4	美濃部 重克
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 『平家物語』の研究

【講義内容】 平家物語および中世の説話集文学を対象に中世における文学と歴史的出来事および歴史記述との関係について論じる。中世が作りあげた新しい文学の様式とは何であったのかについて考えてみる。

【講義計画】 『平家物語』について、次の二つの面から考察する。(1) どのような享受を前提として作品が作られたか、(2) 成立の時期と作者圏とをどのように考えればよいか、について講義し、作品の巻7～巻12のなかから数句を取りあげて講読する。

【評価方法】 筆記試験による。

【テキスト】 山下宏明『平家物語』全冊岩波文庫

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24706	近代小説研究	選	春学期	2	2～4	小 倉 齊
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 近代文学の諸相

【講義内容】 日本の近代現代小説研究。日本の近代現代文学の諸相を、いくつかのテーマを設定しながら、かなめとなる作家・作品・思潮を検討することによって理解し、近代文学の問題点と可能性をさぐる。

【講義計画】 以下の各テーマにしたがって講義をおこなう。
 1 〈書く〉ことと〈語る〉こと
 村上春樹『風の歌を聴け』
 2 近代文学と活字世界——〈模写〉の意味——

- 坪内逍遙『小説神髓』『当世書生気質』、二葉亭四迷『浮雲』
 3 <一人称>小説への模索——<わたくし>の発見——
 森鷗外『舞姫』
 4 <自然>の発見——<風景>への眼差し——
 島崎藤村『破戒』、田山花袋『蒲団』
 5 近代文学の成熟①——自然の<愛>と社会の<掟>——
 夏目漱石『それから』
 6 近代文学の成熟②——<新感覚>とは何か——
 芥川龍之介『歯車』、横光利一『機械』

【評価方法】 学期末の試験（自筆ノート持込み可・論述問題中心）によって評価する。

【テキスト】 森鷗外『舞姫・うたかたの記』（岩波文庫）、島崎藤村『破戒』（新潮文庫）、田山花袋『蒲団・一兵卒』（岩波文庫）、夏目漱石『それから』（岩波文庫）・芥川龍之介『歯車』（岩波文庫）、横光利一『機械・春は馬車に乗って』（新潮文庫）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24711	近代女性作家研究	選	春学期	2	2～4	松 田 良 一
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 女性作家の感性と思想

【講義内容】 日本近代現代女性作家研究。近代現代文学の世界において重要な役割を果たしている女性作家の作品を主な対象として分析する。現代女性文学の感性と文学的特質を追求しつつ、小説表現史についても考察する。

【講義計画】 現在活躍中の吉本ばなな、山田詠美、そして幸田露伴の娘でもあり、小説家として活躍した幸田文、さらにテレビ脚本家の後、小説家として活躍した向田邦子。また森瑤子、津島佑子などの女流作家の文学的特質を追求し、現代女性の内面を分析する。また、女性作家の表現史をふまえながら、現代社会における「家族」「性」「死」について考察する。
 春学期は、前半で現代女性文学の底流にあるマンガ表現や、ドラマなどの関連を考察し、後半は具体的に向田邦子、森瑤子、幸田文の作品を分析する。
 秋学期国文学特殊講義FⅡは、前半で吉本ばななと山田詠美の現代女性文学史上からみた同質点と異質点を分析し、後半は具体的に吉本ばななと山田詠美の作品を分析する。

【評価方法】 定期試験、配布したプリントによる課題の取り組み方、および出席状況などにより総合的に行なう。欠席過多を適用する。

【テキスト】 『ベッドタイムアイズ、ジェシーの背骨』（山田詠美 新潮文庫）、『風葬の教室』（山田詠美 河出文庫）、『キッチン』（吉本ばなな 福武文庫）、『白河夜船』（吉本ばなな 角川文庫）、『思い出トランプ』（向田邦子 新潮文庫）、『台所のおと』（幸田文 講談社文庫）、『情事』（森瑤子 集英社文庫）

【そ の 他】 【参考文献】
 『向田邦子心の風景』（松田良一著 講談社）
 『山田詠美愛の世界』（松田良一著 東京書籍）
 『内面のフィクション』（山田詠美著 河出文庫）
 『B級BANANA』（吉本ばなな著 福武文庫）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24716	漢文学Ⅰ	選	春学期	2	2～4	西 岡 淳
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 漢文読解入門（散文編）

- 【講義内容】 中国古典、日本漢文学のうち、散文を中心に訓読法による読解力を培うことを主眼とし、漢字の成り立ち、用法、漢文法（訓読法を含む）の概要を含めて講ずる。最初は、漢文に特有の語法を用いた文章を読解する演習を反復して行う。その後の作品選読に際しては、履修者の漢文読解に対する意欲を高めるべく努力する。
- 【講義計画】 中国古典文学史の背景を視野に入れつつ、その理解をより深め得るような、まとまった分量をもつ文献の読解を進める。自分で辞書を引きながら、解釈書等に頼らずに読む力をつけることが目標であるので、漢和辞典を毎回持参すること。
- 【評価方法】 出席状況と受講態度から総合的に評価する。
- 【テキスト】 毎回コピーを用いる。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24721	漢文学Ⅱ	選	秋学期	2	2～4	西 岡 淳
他の科目との関連						他学科履修可

- 【副 題】 漢文読解入門（韻文編）
- 【講義内容】 中国古典、日本漢文学のうち、韻文を中心に訓読法による読解力を培うことを主眼とし、漢字の成り立ち、用法、漢文法（訓読法を含む）の概要を含めて講ずる。韻文に特有の型式や語法に説明から始め、散文と比較しながら個々の作品読解に進む。その後の作品選読に際しては、履修者の漢詩文読解に対する意欲を高めるべく努力する。
- 【講義計画】 中国古典文学史の背景を視野に入れつつ、その理解をより深め得るような、まとまった分量をもつ文献の読解を進める。自分で辞書を引きながら、解釈書等に頼らずに読む力をつけることが目標であるので、漢和辞典を毎回持参すること。
- 【評価方法】 出席状況と受講態度から総合的に評価する。
- 【テキスト】 毎回コピーを用いる。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24726	漢文学研究Ⅰ	選	春学期	2	2～4	西 岡 淳
他の科目との関連						他学科履修可

- 【副 題】 中国古典詩選読
- 【講義内容】 中国古典、日本漢文学の作品を講読する。作品の読解に際しては、特有の辞書や工具書の使用方法を身に付け、原文に即して適切な解釈ができることを目指す。中国古典の選択にあたっては、他のジャンルの日本文学、また日本思想との関連を重視し、比較文学・比較思想の視点に立脚して講ずる。
- 【講義計画】 宋代の詩を適宜選択して読み進める。授業の最初に詩人と作品、時代状況などに関して概述し、テキストや参考資料について説明した上で、必要な作業について述べる。授業は演習形式を考えているが、出席者の人数その他の条件によって柔軟に対処する。ほぼ以下のような課程を経る。
1. 講読資料の選定
 2. 漢文学読解に必要な知識及び資料の説明
 3. 資料の性質及びその時代背景の説明
 4. 発表資料の作成方法の説明
 5. 発表と質疑応答
- 【評価方法】 発表資料・質疑内容・レポートなどから総合的に評価する。

【テキスト】 和刻本のコピーを用いる（学生諸君の要望に応ずる）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24731	漢文学研究Ⅱ	選	秋学期	2	2～4	西岡 淳
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 中国古典詩選読

【講義内容】 中国古典、日本漢文学の作品を購読する。作品の読解に際しては、単に語法や語彙の上での理解に止まらず、作品の文化的背景や中国人の思考方法について考察し、日本文化研究に援用できることを目的とする。中国古典の選択にあたっては、他のジャンルの日本文学、また日本思想との関連を重視し、比較文学・比較思想の視点に立脚して講ずる。

【講義計画】 宋代の詩を適宜選択して読み進める。授業の最初に詩人と作品、時代状況などに関して概述し、テキストや参考資料について説明した上で、必要な作業について述べる。授業は演習形式を考えているが、出席者の人数その他の条件によって柔軟に対処する。ほぼ以下のような課程を経る。

1. 購読資料の選定
2. 漢文学読解に必要な知識及び資料の説明
3. 資料の性質及びその時代背景の説明
4. 発表資料の作成方法の説明
5. 発表と質疑応答

【評価方法】 発表資料・質疑内容・レポートなどから総合的に評価する。

【テキスト】 和刻本のコピーを用いる（学生諸君の要望に応ずる）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24736	日本語史Ⅰ	選	春学期	2	2～4	丸山 徹
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 日本語音韻史

【講義内容】 日本語の音韻史を、主として次のような諸項目に沿って概観し、その流れを解釈する。（１）上代特殊仮名遣い （２）「あめつち」「たみに」「五十音図」「いろはうた」 （３）キリシタン文献ローマ字表記 （４）現代諸方言の音声と音体系

【講義計画】

1. 上代特殊仮名遣と音節結合法則
2. 平仮名・片仮名の誕生
——「あめつち」「たみに」「五十音図」と「いろはうた」
3. 日本語の「清濁」
4. 「音便」の成立
5. 日本語音韻史と「仮名遣」
6. 現代諸方言に反映する日本語の変遷

【評価方法】 期末レポートと期末試験。
「欠席過多」は不合格（S）とする。

【テキスト】 渡辺 実 「日本語史要説」（岩波書店）及び授業中配布のプリント

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24741	日本語史Ⅱ	選	秋学期	2	2～4	丸 山 徹
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【副 題】 日本語文法史

【講義内容】 日本語の文法史を、主として次のような諸項目に沿って概観し、その流れを解釈する。(1) 終止形・連体形の融合 (2) 格助詞の発達、主格・対格の明示 (3) 二段活用的一段化 (4) 係り結びの消滅 (5) 補文標識の明示

【講義計画】 1. 終止形・連体形の融合
2. 二段活用的一段化
3. 格助詞の発達、主格・対格の明示
4. 係り結びの消滅
5. 補文標識の明示
6. 「ら抜きことば」の成立

【評価方法】 期末レポートと期末試験。
「欠席過多」は不合格(S)とする。

【テキスト】 渡辺 実 「日本語史要説」(岩波書店) 及び授業中配布のプリント

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24746	現代日本語の構造A (文法)	選必	春学期	2	2～4	町田 奈々子
他の科目 との関連	(1) 人文学基礎演習Ⅰ、Ⅱ(日本文化学科の学生)(2) 人文学基礎論(日本語学入門)(人文学部の学生)(3) 人文学基礎論(言語学入門)(人文学部の学生) (4) 言語研究の基礎(外国語学部の学生)のいずれかを履修済みであること。					他学科 履 修 可

【講義内容】 現代日本語の様々な構造、統語現象について観察、分析する力を培う。形態論、統語論、意味論などに関わる諸問題を広く取り上げる。必要に応じて、他の言語の構造との比較観察も行い、言語の普遍性についても考察する。

【講義計画】 プリント教材に沿って講義を進めていく。

【評価方法】 クラス参加、筆記試験

【テキスト】 プリント教材を配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24751	現代日本語の構造B	選	春学期 隔週	2	2～4	阿 部 泰 明
他の科目 との関連	(1) 人文学基礎演習Ⅰ、Ⅱ(日本文化学科の学生)(2) 人文学基礎論(日本語学入門)(人文学部の学生)(3) 人文学基礎論(言語学入門)(人文学部の学生) (4) 言語研究の基礎(外国語学部の学生)のいずれかを履修済みであること。					他学科 履 修 可

【副 題】 日本語の音声と音韻

【講義内容】 現代日本語の音声の構造、音韻現象を共時的に概観する。音素と異音の概念、形態音素、音調、アクセントなどの考察を含む。一般音声学の基礎、音韻素性の体系、音韻規則による定式化の問題なども検討し、幅広く日本語の音に関わる現象を取り扱う。他言語に見られる音声・音韻現象などにも触れる。

【講義計画】 以下の項目を順次扱う。
一般音声学(調音音声学)の基礎(発音器官、子音と母音の生成)、超分節的特徴(ピッチアクセント)、

音節構造とモーラ、音素の理論、異音の派生規則、諸言語の音素体系、様々な音韻現象など。

【評価方法】 学期末試験

【テキスト】 『生成言語学入門』（井上和子 他 著）大修館書店

【その他】 隔週開講で2コマを使用。（社会言語学を参照）
開講日：4/23、5/14、5/28、6/11、6/25、7/9

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24756	言語分析A	選	春学期	2	2～4	初山 洋介
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 現代日本語の意味論

【講義内容】 成分分析、意義素論などの伝統的意味論を、そして近年盛んになってきている認知意味論の基本的な考え方、分析方法を概観する。次に、そうした諸理論をふまえて、現代日本語の様々な表現を分析する。

【講義計画】

- 意味論の基礎
 - 意味論とは
 - 語の多面的特徴の記述（辞書の検討）
 - 語と語の意味関係
- 意味の諸理論
 - 成分分析
 - 意義素論
 - 認知言語学における意味研究

事前に『よくわかる言語学入門』（町田健・初山洋介著、バベル・プレス）の「第5章 意味論」を読んでおくことが望ましい。

【評価方法】 筆記試験および平常点

【テキスト】 プリントを配布する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24761	言語分析B	選	秋学期	2	2～4	町田 健
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 現代日本語のテンス・アスペクト・モダリティー、意味役割、主題などのテーマを中心に据えて、「文の意味」について幅広く考える。

【講義計画】

第1回～第4回 国文法の問題点（言語的単位の設定・品詞分類）
 第5回～第9回 国語学史と国文法（橋本文法、時枝文法等）
 第10回～第15回 日本語文法の基礎

- ①単位の設定
- ②文の構造
- ③主語と主題
- ④テンス・アスペクト
- ⑤モダリティー

【評価方法】 試験期間中に筆記試験を実施する。評価に際しては、授業への出席を中心とする。平常点も十分に考慮する。

【テキスト】 町田 健 『日本語のしくみがわかる本』（研究社）

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24766	英文による日本文法研究	選	秋学期	2	2～4	阿 部 泰 明
他の科目との関連	(1) 人文学基礎演習Ⅰ、Ⅱまたは現代日本語の構造A(日本文化学科の学生)(2) 人文学基礎論(日本語学入門)(人文学部の学生)(3) 人文学基礎論(言語学入門)(人文学部の学生)(4) 言語研究の基礎(外国語学部の学生)のいずれかを履修済みであること。					他学科履修可

【副 題】 Introduction to Japanese Syntax

【講義内容】 日本語を母語とする学生と日本語以外の言語を母語とする学生が参加し、英語を共通語として用いて、講義や質疑応答、討論を行う。英文によるテキストを用いて、言語理論の基礎から始めて、日本語文法の諸現象の分析を検討すると同時に文法理論の基礎的概念を学んでいく。

【講義計画】 We will begin by looking at some of the fundamental assumptions and important concepts in the modern theory of linguistics, Generative Grammar, and will apply its methodology to the study of the Japanese language. The course will cover the basic theory of syntactic structure and major syntactic constructions in Japanese including scrambling, quantifier floating, anaphora, causative, passive, relative clause, unaccusativity, etc.

【評価方法】 Take Home Exam

【テキスト】 None

【そ の 他】 留学生別科オープンコース科目と共通開講。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24771	社会言語学	選	春学期 隔週	2	2～4	服 部 範 子
他の科目との関連	言語学概論程度の基礎知識があることが望ましい					他学科履修可

【副 題】 変異理論の枠組みによることばの変化の研究

【講義内容】 実際の社会で使われる言語は必然的に変異を伴い、変異は話者の社会的要因(年齢、性別、階級等)や文脈に依存し、また言語変化の始まりとなりうる。変異に注目して言語と社会の関係を捉えようとする社会言語学の方法論を概観し、主として日本語を例に具体的な問題のありかを検討し、分析していく。

【講義計画】 社会言語学の理論を踏まえて、言語の音声・音韻、形態、統語、語彙のレベルにおける変異を考察する。具体的には、米英における変異理論の発展を辿りながら、データの収集方法、分析方法を学び、日本語の分析例をもとに今後の課題を探っていく。

【評価方法】 試験、レポート、出席状況を総合して評価する。

【テキスト】 テキスト：プリントを使用。
参考書：中尾俊夫・日比谷潤子・服部範子『社会言語学概論』くろしお出版。

【そ の 他】 隔週開講で2コマを使用。(現代日本語の構造Bを参照)
開講日：4/16、5/7、5/21、6/4、6/18、7/2

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24776	日本語音韻論	選	夏期集中	2	2～4	窪 蘭 晴 夫
他の科目との関連	言語学概論程度の基礎知識があることが望ましい					他学科履修可

【副 題】 日本語音韻論と音声教育

【講義内容】 音韻論の諸問題。音韻論における諸問題を概観しつつ、日本語特有の音韻現象の分析を考察する。生成音韻論の枠組みについても検討し、最近の音韻論理論の検討も行う。

【講義計画】 次のスケジュールで音声学と日本語音韻論の基礎を学び、あわせて日本語学習者（外国人）に対する日本語音声教育の具体的な問題点を考察する。

- 1日目 母音と子音（教科書第1章）
- 2日目 拍とリズム（第2章）
- 3日目 アクセント（第3章）
- 4日目 イントネーション（第4章）

【評価方法】 授業中の小テスト及び筆記試験

【テキスト】 田中真一・窪蘭晴夫共著『日本語の発音教室』（くろしお出版、1999）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24781	コンピュータと言語学	選	夏期集中	2	2～4	大 名 力
他の科目との関連	言語学概論程度の基礎知識があること。 ワープロ、メール、ウェブブラウザの基本的な操作ができること。					他学科履修可

【講義内容】 言語とコンピュータの関わりを次に挙げる観点から検討する。
 1. 日本語、英語などの自然言語を研究する道具としてのコンピュータ
 2. 言語理論を確かめる手段としてのコンピュータ
 3. インターネット環境におけるインターフェースとしての言語
 学生によるコンピュータの実習も含む。

【講義計画】 言語研究のために用例を収集・分析する上で役に立つテキスト処理の方法について学ぶ。具体的には、
 a) UNIX（またはDOS）の使い方
 b) テキストの電子化の方法、電子テキストの収集方法
 c) エディターによるテキストの検索・加工の方法（正規表現についても学ぶ）
 d) 日本語形態素解析システム『茶筌』の使い方
 e) 表計算ソフトによるテキストデータの加工・数値化の方法
 について学ぶ。時間的に余裕があれば、簡単なプログラミングも行う。

【評価方法】 授業での活動状況・課題・学期末試験による。

【テキスト】 プリントおよびオンライン資料を基に進める。

【そ の 他】 コンピュータを使った実習を多く含むので、人数制限有（30名）。
 日本文化学科、日本語学科、国語学国文学科の学生を優先します。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24786	キリシタン語学	選	春学期	2	2～4	丸 山 徹
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 「大航海時代の語学書」としてのキリシタン文献

【講義内容】 大航海時代におけるポルトガル西方航海の終点ブラジルから東方航海の終点日本に至る世界各地でのイエズス会の活動、就中、語学研究について学ぶ。そして国語学で一般に「キリシタン文献」と呼ばれているものを「大航海時代の語学書」として捉えなおし、そこに反映する中世日本語の姿について、共に考える。

【講義計画】 1. ルネサンス、宗教改革、大航海時代
2. ルネサンス期の語学書
3. 「大航海時代の語学書」
4. 日本における「キリシタン文献」
5. 「キリシタン文献」と中世日本語

【評価方法】 期末レポートと期末試験。
「欠席過多」は不合格 (S) とする。

【テキスト】 授業中配布のプリント

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24791	日本語研究史	選	春学期	2		釘 貫 亨
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 日本語史研究における古辞書を含む諸文献の取扱いについて概説する。

【講義計画】 院政鎌倉時代に発足した日本古典の注釈の中に日本語研究の萌芽を観察することができる。以後日本古典学は、「てにをは秘伝」および「仮名遣い秘伝」の形で中世の神秘的な知的世界において継承されて行く。本講義では、日本語研究がどのような知的情熱を活力源として発展してきたかを論じつつ、近世国学の巨大な言語研究の蓄積に到達したのかを具体的な文献に則しつつ、考証する。

【評価方法】 レポート

【テキスト】 当方で用意する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24796	生成文法と日本語	選	秋学期	2	2～4	高 野 祐 二
他の科目との関連	(1) 人文学基礎演習Ⅰ、Ⅱ (日本文化学科の学生) (2) 人文学基礎論 (日本語学入門) (人文学部の学生) (3) 人文学基礎論 (言語学入門) (人文学部の学生) (4) 言語研究の基礎 (外国語学部の学生) のいずれかを履修済みであること。					他学科履修可

【講義内容】 生成統語論の枠組みのなかで句構造、語順などの問題を扱いながら、普遍文法と個別言語との関わりをパラメータ理論に絡めて考察していく。

【講義計画】 日本語に関する以下のトピックの中からいくつかを選び、他言語との比較を通じて論ずる。
・句構造と語順
・移動現象
・格体系

- ・受動態
- ・疑問文
- ・使役文
- ・関係節

【評価方法】 主として筆記試験の成績によるが、質問を含めた授業での発言状況も考慮に入れる。

【テキスト】 なし。参考書を授業で紹介する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24801	日本語教授法Ⅰ	選	春学期	2	2～4	伴 紀 子
他の科目との関連	人文学基礎論（日本語教育入門）を履修していることが望ましい					他学科履修可

【講義内容】 外国語としての日本語教育はその指導法において、文法翻訳法、直接教授法、オーディオリンガル・メソッドなどさまざまな外国語教授法から影響を受けている。そこで、これまでに日本語教育に取り入れられてきた教授法についてその理論から実践までを日本語教育の実際に則して考える。

- 【講義計画】
1. 外国語教授法と日本語教授法
 2. 伝統的な日本語教授法
 3. オーディオリンガル・メソッドと日本語教授法
 4. 新しい外国語教授法
 5. コミュニケーション中心の外国語教授法
 6. 伝統的なアプローチから折衷主義的アプローチへ
 7. 外国語教授法と日本語の教科書

【テキスト】 西口光一著『日本語教授法を理解する本、歴史と理論編』 パベル・プレス

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24806	日本語教授法Ⅱ	選	秋学期	2	2～4	坂 本 正
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 外国人のための日本語コースで教師が考慮すべきことがらは数多くあるが、特に、どのような学習者か、外国人の学習目標・ニーズは何か、その目標達成のためには何をシラバスにするか、どのようなカリキュラムを作るか、実際にいかに教えるか、どうやってその学習成果を評価するか、などの日本語教育のコースデザインについて基本的知識を獲得する。

【講義計画】 指定範囲のテキストの予習を前提にしたディスカッションを行う。

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 『日本語教育の方法——コース・デザインの実践』 田中望著、大修館

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
24811	日本語の教育と学習	選	春学期	2	2～4	伴 紀 子
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 外国語教育は外国語学習に対する正しい認識が必要であるため、まず学習者の適性、動機づけ、感情移

入などの個人的な学習要因を概観した上で、言語学学習過程において学習を促進するために意識的にあるいは無意識に用いられる学習のストラテジーと母語話者との会話中に使われるコミュニケーション・ストラテジーに検討を加え、効果的な日本語学習を考える。

- 【講義計画】
1. 外国語（日本語）教育における教師と学習者の役割
 2. 学習プロセスと学習を促進させる要因
 3. 個人としての学習者と自己学習能力
 4. 言語学習を援助する指導法
 5. 「文法」の学習と意識化
 6. 教室での外国語（日本語）学習と教授法

【評価方法】 出席、レポート、試験などから総合して評価する。

【テキスト】 プリントを配布する。

【その他】 参考文献
 ビビアン・クック著『第2言語の学習と教授』 研究社出版
 宮崎里司・J.V.ネウストプニー共著『日本語教育と日本語学習』 くろしお出版
 R.L.オックスフォード著『言語学習ストラテジー』 凡人社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24816	第二言語習得研究	選	秋学期	2	2～4	坂本 正
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 人間が母語以外の言語を習得する際、いろいろな問題が生ずるが、第二言語習得に影響を及ぼす要因とは一体どのようなものであろうか。言語学、心理学、教育学の視点から考察を加え、第二言語習得の全体像を把握する。

【講義計画】 指定範囲のテキストの予習を前提にしたディスカッションを行う。

【評価方法】 授業への参加度、小テスト、筆記試験

【テキスト】 *How Languages are learned Revised Edition* by Patsy Lightbown and Nina Spada, Oxford University Press, 1999.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24821	日本語教育教材研究	選	春学期	2	2～4	加藤 俊一
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 日本語教育における視聴覚教材について解説した後、パネル教材および映像教材の特性を考察し、どのように使われているかをビデオで見る。ビデオは各機関での授業風景および英語やフランス語などの教育用ビデオなども使用する。

- 【講義計画】
1. 日本語教育用の視聴覚教材——パネル教材、スライド教材、映像教材、テープ教材など
 2. 教授法と視聴覚教材の使い方
 3. 教室活動——学習項目の提示、場面と機能を考えた練習、ペアワーク、ロールプレイ
 4. 外国語教育用ビデオとテレビ番組・映画の差異

【評価方法】 平常点（20%）、レポート（30%）、期末試験（50%）

【テキスト】 プリント

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24826	日本語教育文法	選	春学期	2	2～4	加藤 俊一
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 日本語教育で教えられる文法は、我々が習った口語文法と大きく異なり、日本語を全く知らない外国人学習者から見て、分かりやすく、かつ覚えやすい体系を持ったものでなければならない。そこで、日本語の初級レベルの教科書に出てくる基礎的な文法用語、文法体系を学び、中上級への橋渡しとなる基礎的な日本語教育文法を修得する。

【講義計画】

1. 日本語教育文法とは
2. 品詞と文の成分
3. 助詞の機能と教え方
4. 動詞の機能と教え方
5. 形容詞の機能と教え方
6. 受動態や使役態の教え方
7. 時制の教え方
8. その他

【評価方法】 出席・発表（20％）、レポート（30％）、期末試験（50％）

【テキスト】 野田尚史著『はじめての人の日本語文法』（くろしお出版）およびプリント

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24831	初中級の日本語教育	選	秋学期	2	2～4	加藤 俊一
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 実際の初中級の日本語の授業でどのような教育活動が行われているかを概観し、表現文型の導入、口頭ドリル練習、談話練習、作文、読み、漢字などの効果的な指導法を履修生とともに考える。また、時間の許すかぎり教壇模擬実習も行う。

【講義計画】

1. 文型と機能の関係
2. 会話のスタイルと文章表現
3. 中級で扱う文法項目
4. 生教材の語句
5. 運用練習

【評価方法】 平常点（20％）、レポート（30％）、期末試験（50％）

【テキスト】 Akira Miura & Naomi Hanaoka McGloin著 “An Integrated Approach to Intermediate Japanese”（中級の日本語）ジャパントイムズ

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
24836	日本語の会話教育	選	秋学期	2	2～4	尾崎 明人
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 初級から中級へと進むにつれて、文レベルの正確な理解、産出から、より大きな単位としての談話レベルの理解、そして自然な談話を構成する力（談話構成能力）の養成へと焦点が移る。また、日本人と円滑にコミュニケーションができるように、日本語のコミュニケーション・ストラテジー能力の養成も重要で

ある。日本語学習者と日本人の実際の会話を資料として、談話構成能力、コミュニケーション・ストラテジー能力の養成法を模索する。

【講義計画】 以下のトピックについて講義と演習を組み合わせる。受講者は指定論文を事前に読んで授業に出席すること。

- 1) 日本語教育のパラダイムシフト
- 2) コミュニケーション能力
- 3) 会話の仕組み
- 4) 接触会話の分析
- 5) 会話教育の内容
- 6) 教科書会話の分析
- 7) 会話教育の方法

【評価方法】 課題と筆記試験

【テキスト】 随時指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24841	日本語の音声教育	選	春学期	2	2～4	鹿島 央
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 実際に母語が異なる学習者の話した日本語をテープで聞き、日本語の発音で一般的にどのような母語話者にどのような音声上の困難点があるかを学び、音声学の知識を駆使して、効果的な音声教育、発音矯正法を実際に体験しながら身に付ける。

【講義計画】 1) 分節レベル：母音、半母音、子音
2) 韻律レベル：リズム、アクセント、イントネーション、プロミネンス、ポーズ
3) 音声導入の方法と問題点

【評価方法】 最終テストと出席

【テキスト】 特に指定せず、授業のなかで随時紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
24846	日本語能力評価法	選	春学期	2	2～4	村上 京子
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 日本語能力をはかるにはどのような方法があるのだろうか。会話能力、聴解能力、作文能力、読解能力の調べ方、また、その結果の解釈のしかたを実際の資料を用い、身に付けると同時に、日本語教育に必要な基礎的な統計の知識も学ぶ。

【講義計画】 指定範囲のテキストの予習を前提にしたディスカッション、演習を行う。

【評価方法】 授業への参加度、レポート、演習問題

【テキスト】 『言語テストの基礎知識』 J.D.ブラウン著 大修館書店